

計画段階評価について

とっとり とよおか みやづ
鳥取豊岡宮津自動車道 (とっとり鳥取～ふくべ福部)

第1回 説明資料

平成28年10月21日

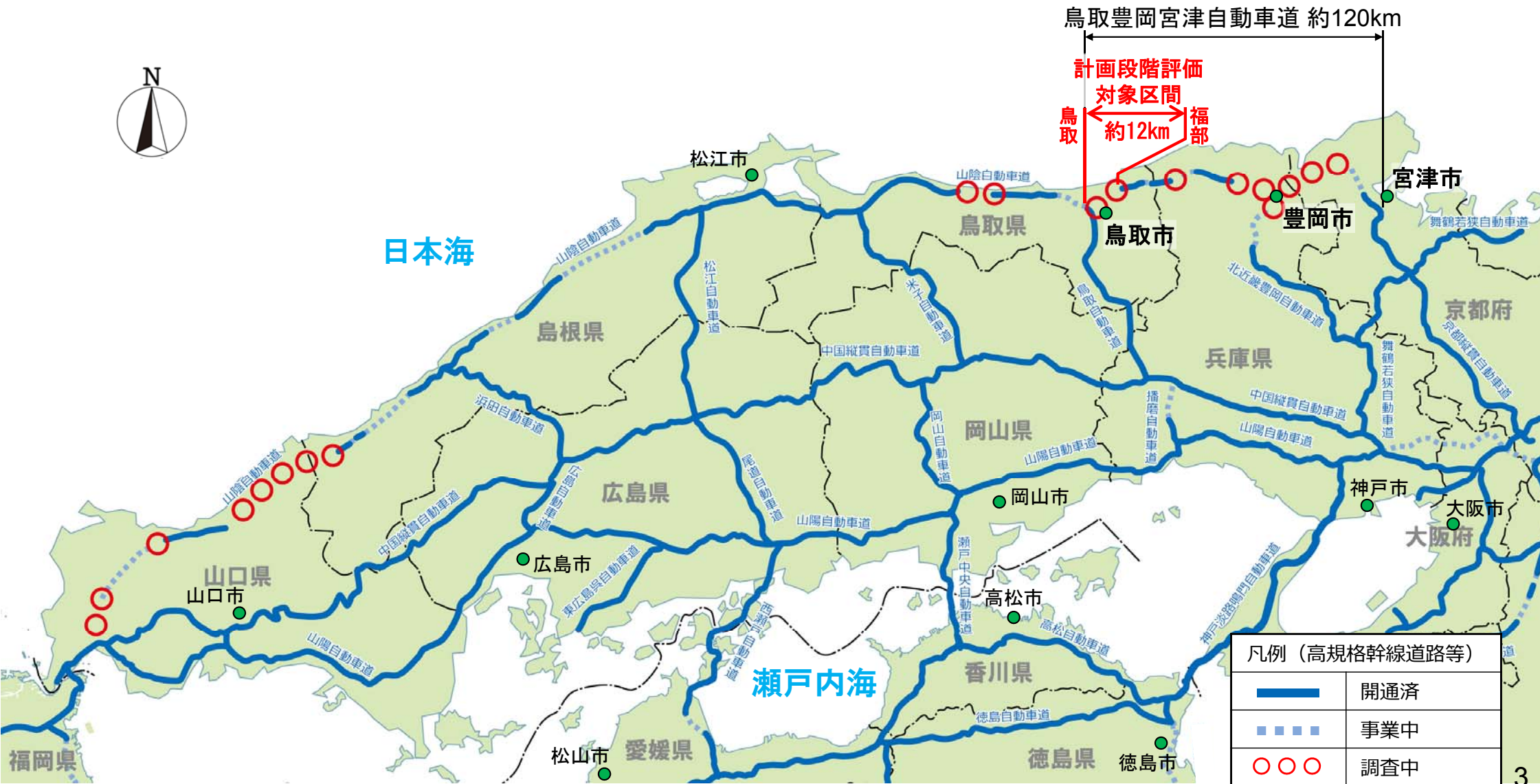
国土交通省 中国地方整備局

1. 鳥取豊岡宮津自動車道の位置付け	・ ・ ・ 2
2. 地域の概況	・ ・ ・ 6
3. 道路の状況と課題	・ ・ ・ 13
4. 地域の状況と課題	・ ・ ・ 19
5. 課題の整理	・ ・ ・ 34
6. 計画段階評価の進め方	・ ・ ・ 42
7. 意見聴取方法	・ ・ ・ 44

1. 鳥取豊岡宮津自動車道の位置付け

1-1. 中国地方の高規格幹線等道路網

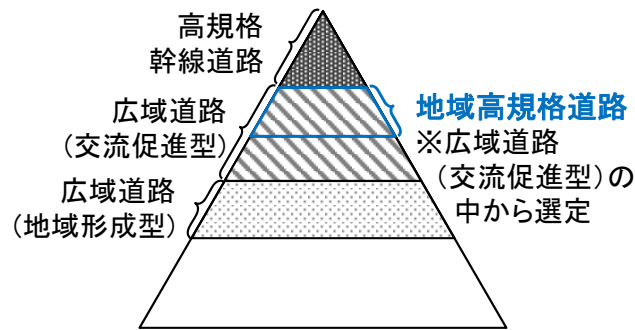
- 当該区間は、鳥取県東部、兵庫県但馬、京都府北部の各地方生活圏を連絡する鳥取豊岡宮津自動車道の一部をなす。
- また、鳥取自動車道と山陰自動車道に接続し、山陰と山陽、日本海国土軸とを結節する交通の要所に位置する。



《参考》 鳥取豊岡宮津自動車道とは

- 鳥取豊岡宮津自動車道は、鳥取県東部、兵庫県^{たしま}但馬、京都府北部の各地方生活圏を連絡するとともに、山陰道や鳥取自動車道との連携により広域的な循環ネットワークの形成を図る延長約120kmの路線で、平成6年12月に地域高規格道路の計画路線に指定されている。
- 地域高規格道路の3つの機能のうち、高規格幹線道路を補完し、物資の流通、人の交流の活性化を促し、地域集積圏間の交流を図ることを主目的とする『交流機能』に該当。

■広域道路整備基本計画における地域高規格道路の位置付け



資料/地域高規格道路 道路広報センター

■地域高規格道路の整備方針

- 高規格幹線道路網を補完し、地域相互の交流促進等の役割を担う道路であり、具体的には【連携機能】【交流機能】【連結機能】の3つの機能を確保するため、地域の実情を踏まえながら、概ね60km/hの旅行速度の確保を目指す。
- 構造規格は、沿道の土地利用状況や交通特性など地域の実情に合わせて、沿道のアクセスをコントロールするタイプや、サービス速度を確保できる場合は、コスト縮減などの観点から、現道の活用や平面交差を設けることなどができる。

資料/国土交通省

■地域高規格道路の3つの機能

【連携機能】

通勤圏域の拡大や都市と農山村地域の連携の強化による地域集積圏の拡大を図る環状・放射道路

【連結機能】

空港・港湾等の広域的交流拠点や地域開発拠点等との連絡道路

【交流機能】

高規格幹線道路を補完し、物資の流通、人の交流の活性化を促し地域集積圏間の交流を図る道路



資料/地域高規格道路 道路広報センター

鳥取豊岡宮津自動車道の主な位置付け

■地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道



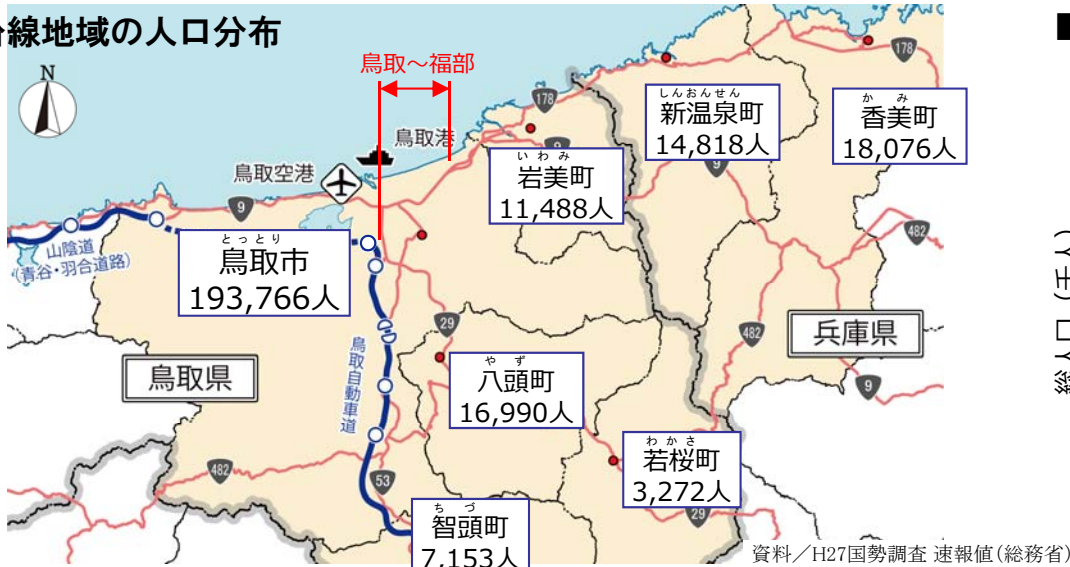
2. 地域の概況

2-1. 人口構造

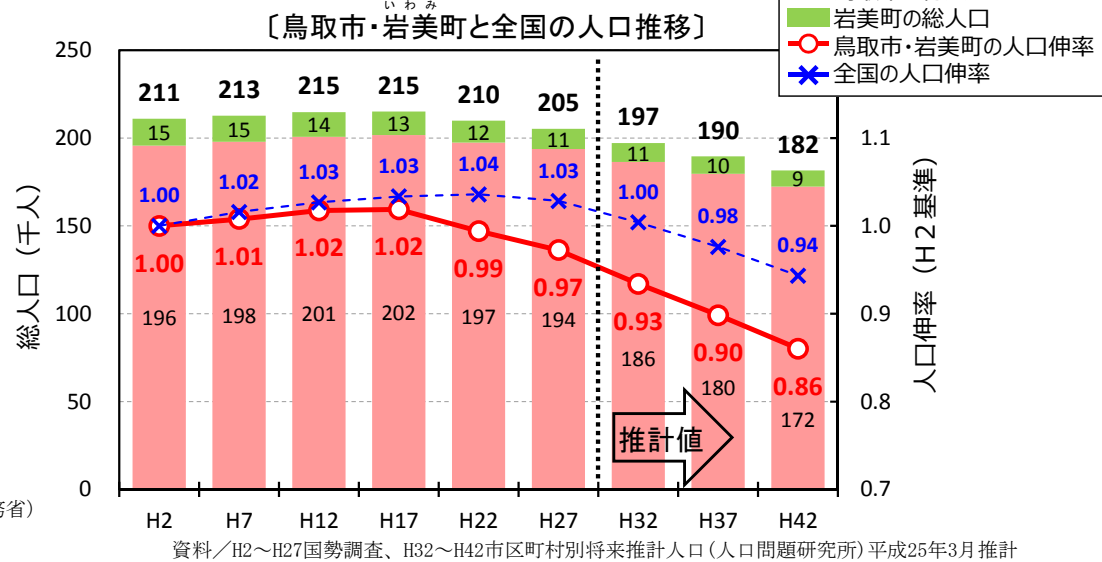
○鳥取市・岩美町の総人口は約20万人で、平成17年をピークに減少に転じており、全国平均を上回るペースで減少することが懸念されている。平成17年～22年における人口移動は、20代の転出超過が顕著となっている。

○高齢化率についても全国平均と同等のペースでの増加が懸念される。

■沿線地域の人口分布

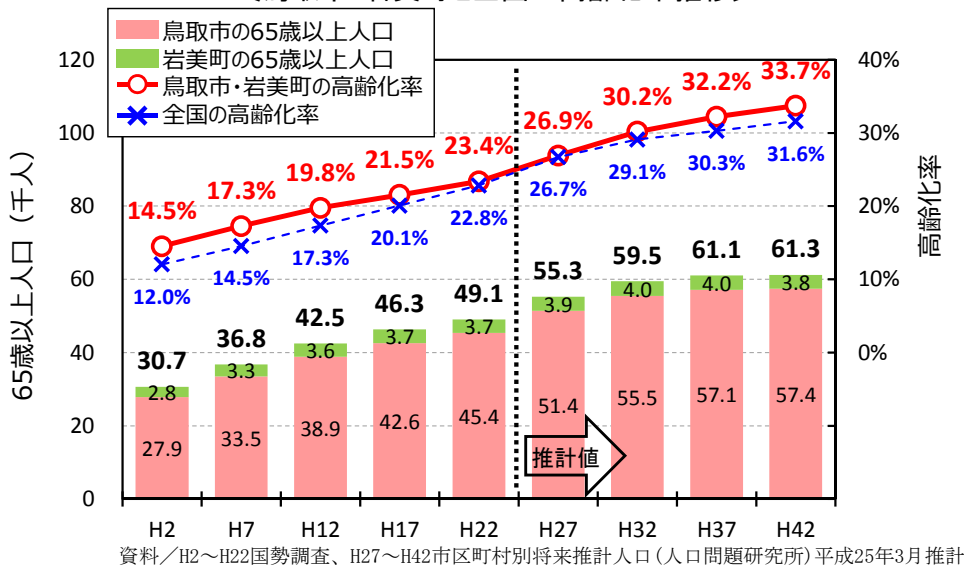


■人口推移と人口移動

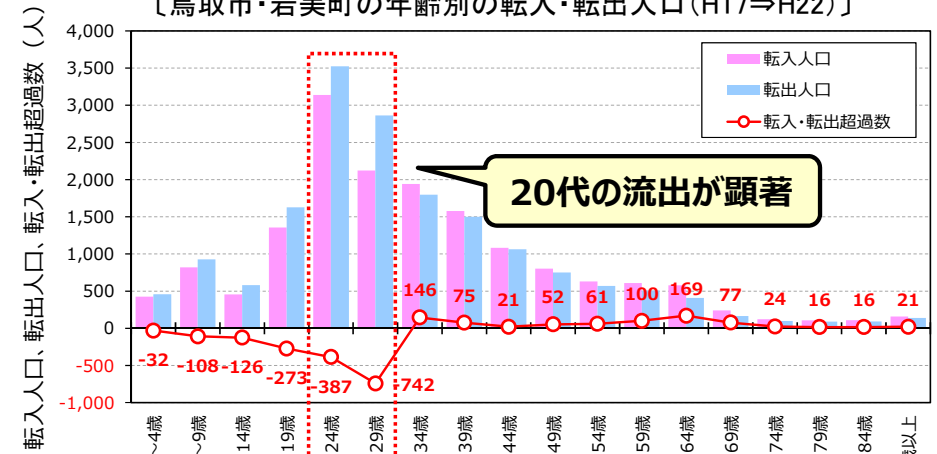


■高齢化率推移

〔鳥取市・岩美町と全国の高齢化率推移〕

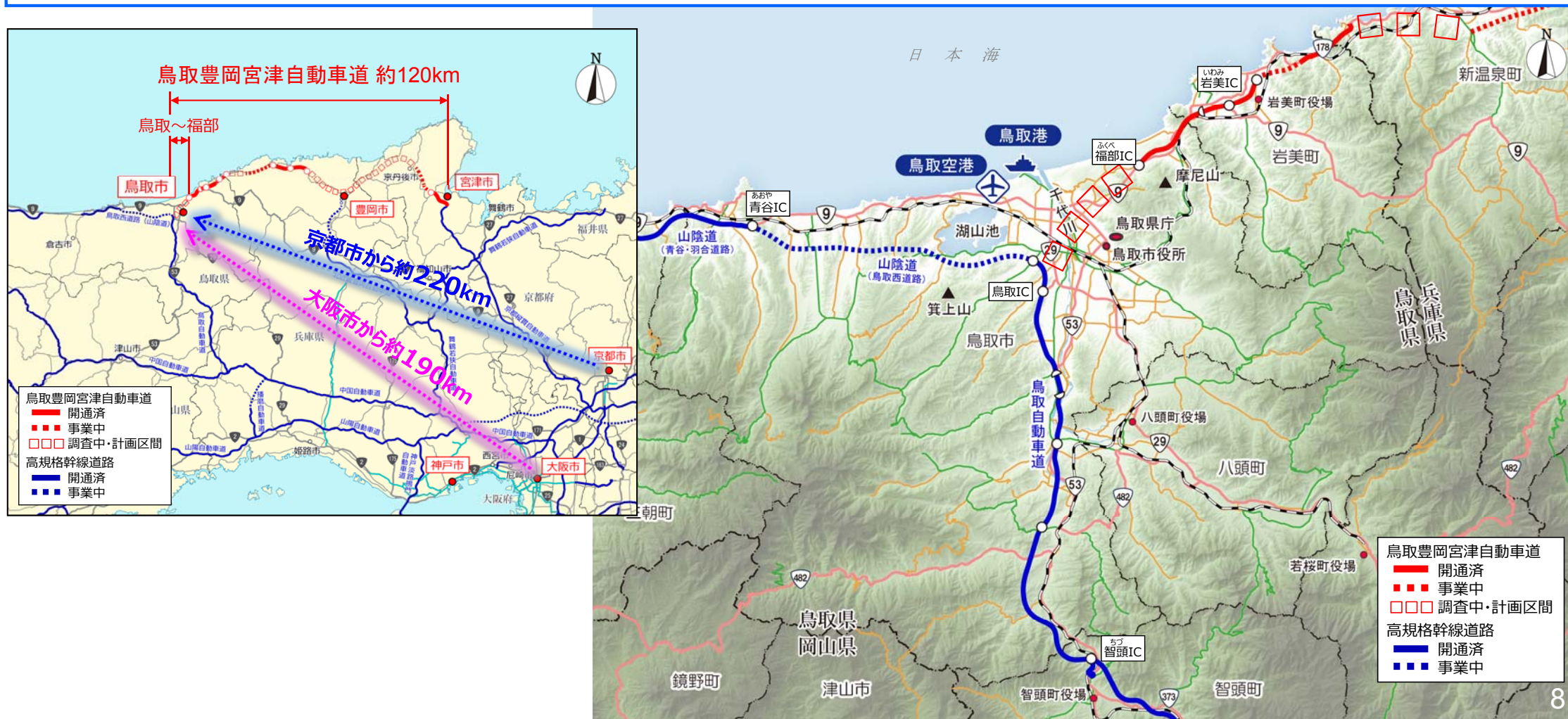


〔鳥取市・岩美町の年齢別の転入・転出人口(H17⇒H22)〕



2-2. 土地利用等

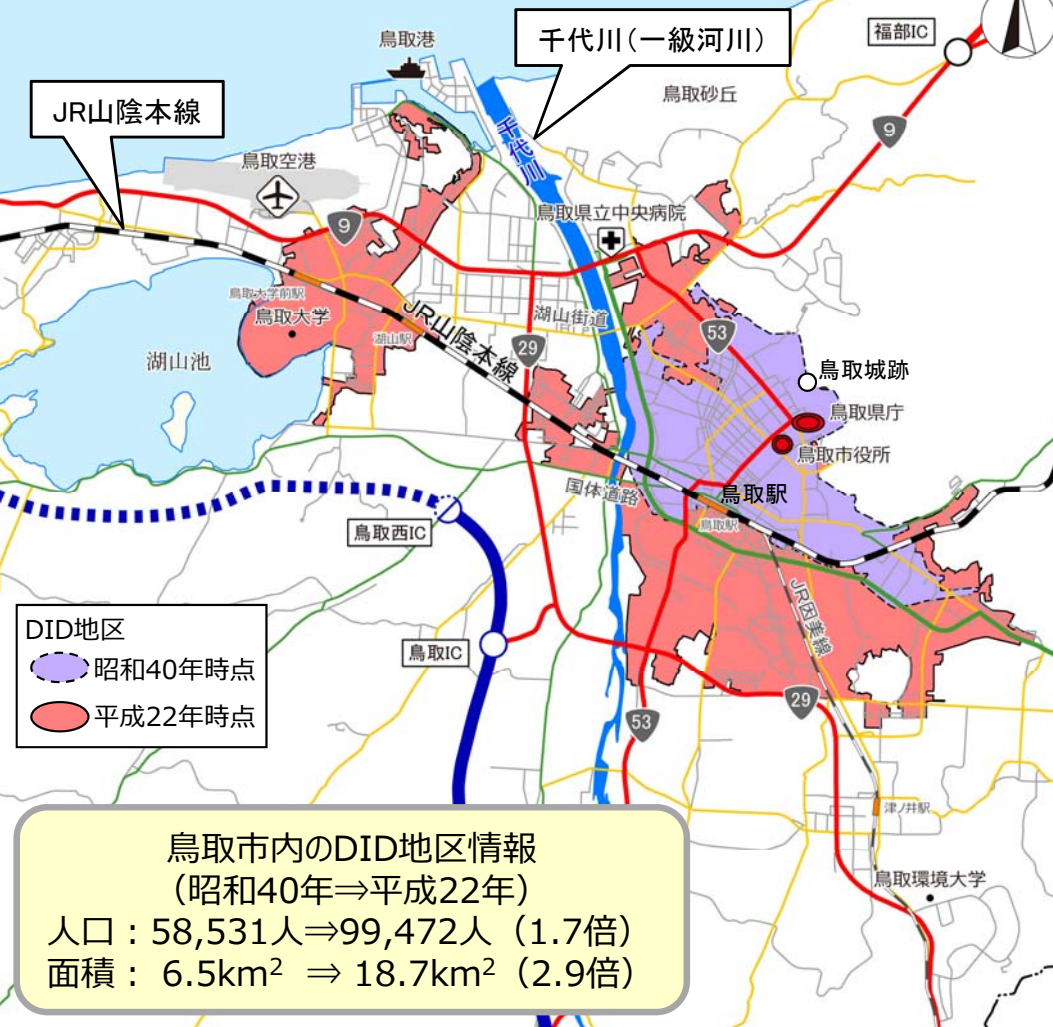
- 鳥取市は、鳥取県東部に位置する県庁所在地で、大阪市から約190km、京都市から約220kmの距離に位置しており、山陰地方の東の玄関口となっている。
- 一級河川千代川流域に広がる平地部に形成された市街地は、東側、南側を山に、西側を湖山池に囲まれ、地域間を連絡する鉄道や道路は、山際や海岸付近の平地部を通過している。
- 市街地北側には鳥取空港、鳥取港が位置し、南側の鳥取自動車道、西側の鳥取西道路(事業中)と合わせ、県東部の空運・海運・陸運を担っている。



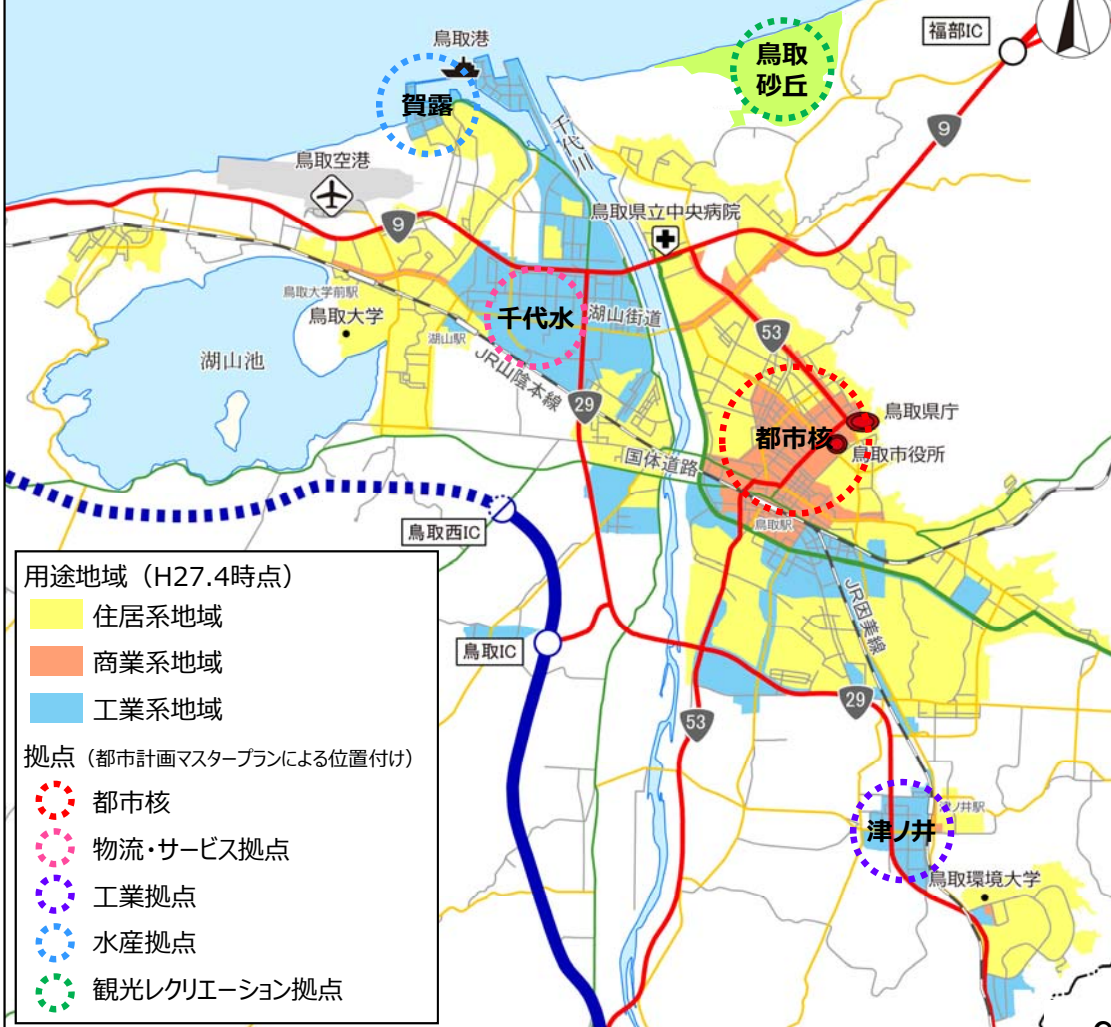
2-2. 土地利用等

- 鳥取市は鳥取駅・鳥取城跡周辺を核として栄えてきたが、大型商業施設の郊外進出、新たな宅地造成等により、拡大、発展してきたことで郊外の市街化が進み、都市全体が千代川とJR山陰本線に分割される形となっている。
- 鳥取市では、賀露地区は「水産」、千代水地区は「物流・サービス」拠点に位置付けられ、国際的・広域的な産業の活性化を図ることを目標としている。

■DID地区の変遷(昭和40年⇒平成22年)



■用途地域と拠点エリア

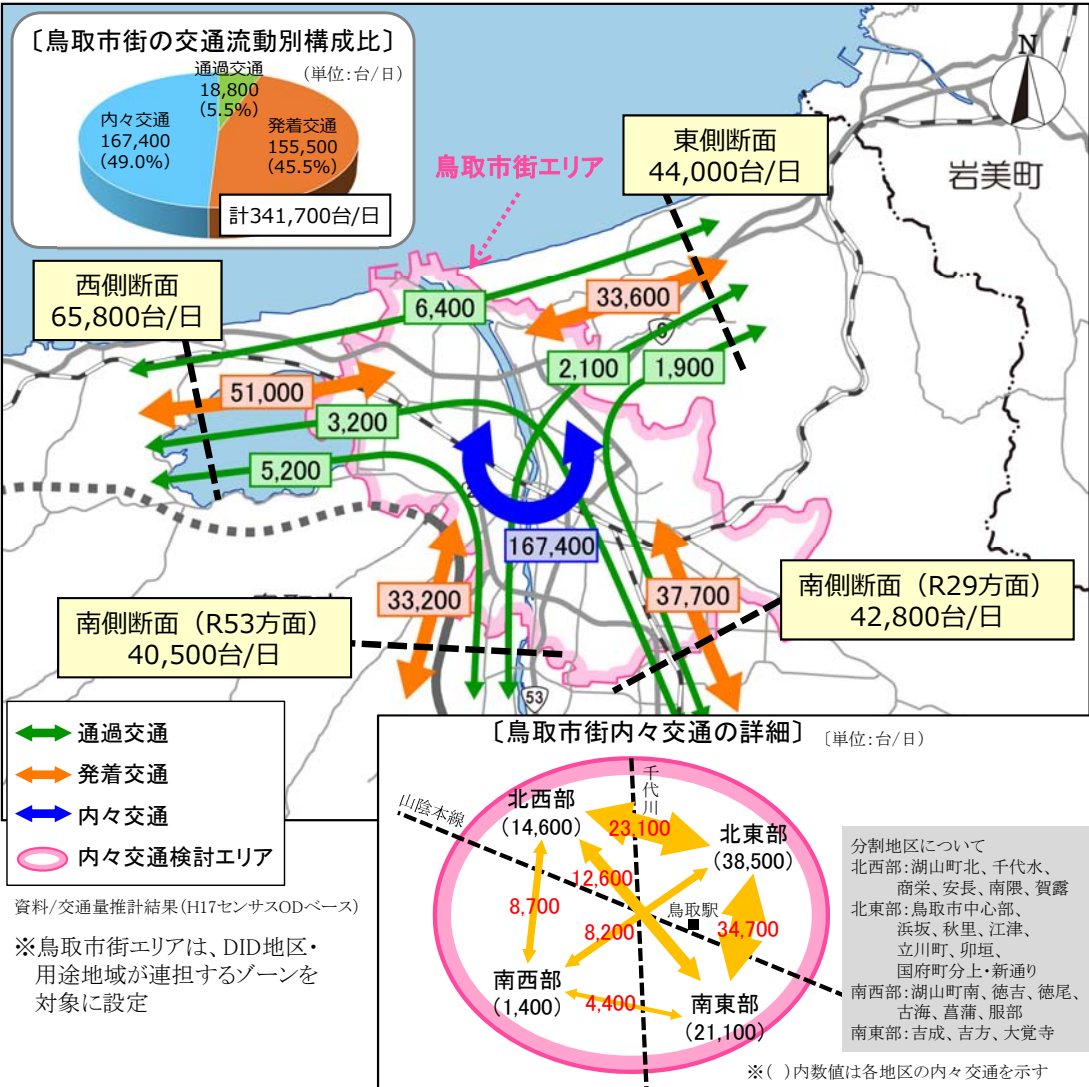


2-3. 交通流動

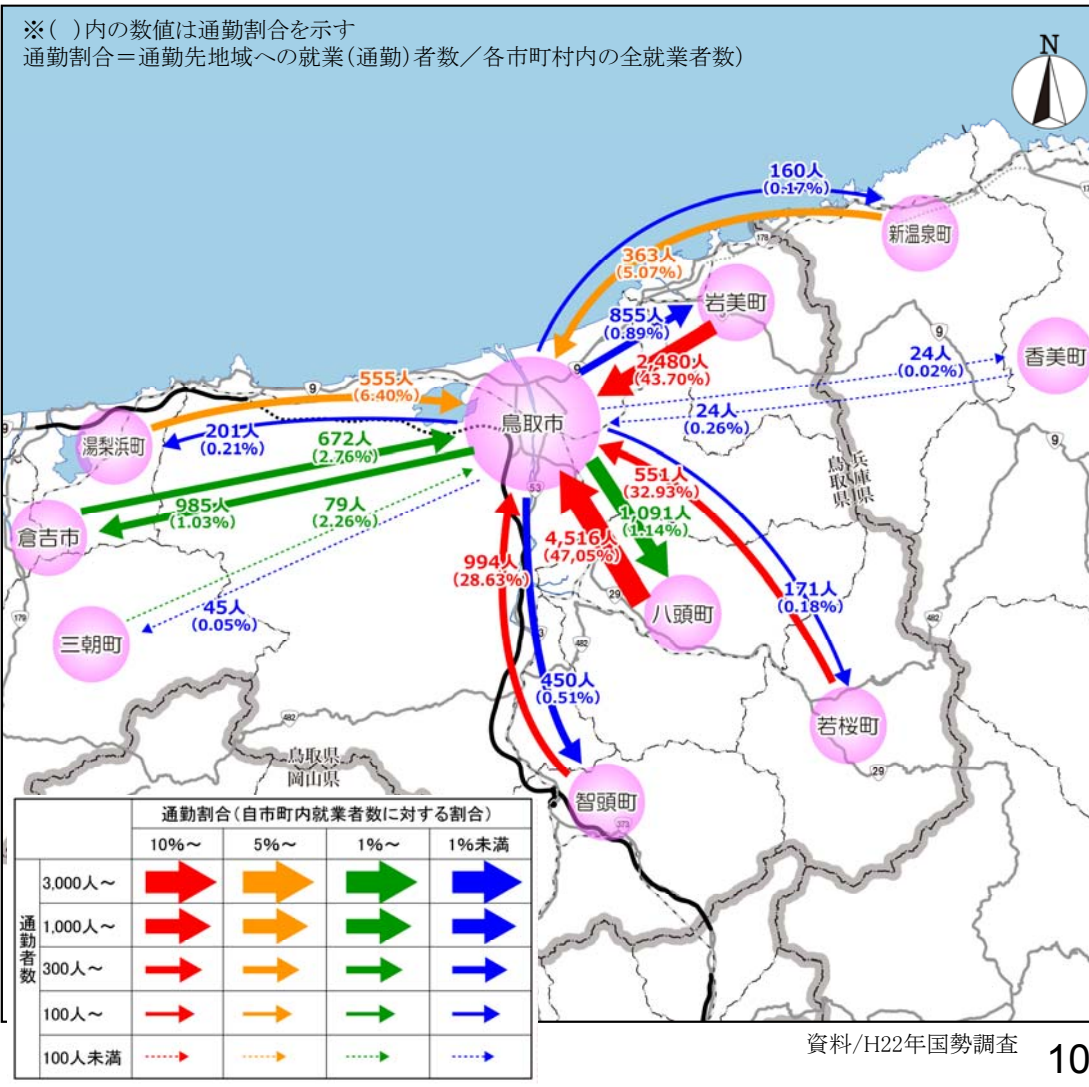
○鳥取市街における交通流動は、約34万台/日あり、そのうち市内を発着する交通が45.5%を占め、内々交通が49.0%となっている。東西及び南方向からの通過交通は5.5%存在。

○鳥取市周辺の通勤流動は、鳥取東部地域(岩美町、若桜町、八頭町、智頭町)から鳥取市への通勤者数及び通勤割合が多く、結びつきが強い。また、新温泉町、湯梨浜町、倉吉市からの通勤も比較的多い状況にある。

■鳥取市街における交通流動



■鳥取市への通勤流動

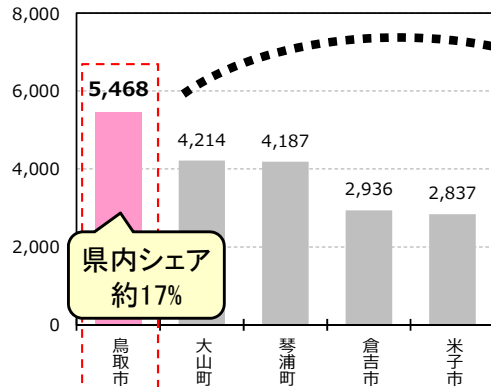


2-4. 産業構造（農林水産業・商工業の状況）

- 鳥取市は、農林業や製造業（工業）、卸売・小売業（商業）の各生産額等の県内シェアが高い状況である。
- 農林業においては県内の米作りにおける代表産地となっており、製造業においては電子部品・デバイス、電機機械工業を中心とした企業が集積し、市街地エリアには多くの商業施設が立地している。
- 岩美町は、水産業の生産額が県内2位、高価で取引されるズワイガニの漁獲量は日本一を誇る。

■鳥取県の農林業の状況

〔農林業の総生産(上位5位)〕



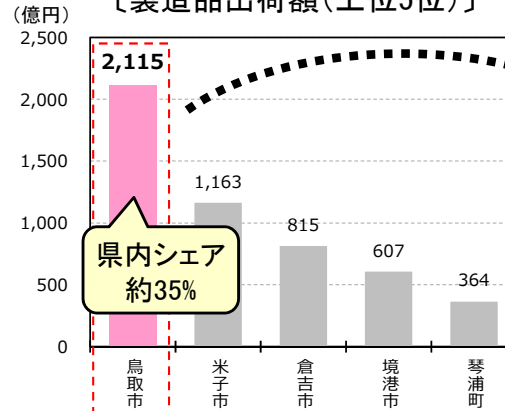
●鳥取市の主要農産物
鳥取市は県内の米づくりにおける代表産地で、作付面積3,260haは県全体の約25%（第一位）を占める。
県産米の産出額（110億円）は全国37位で、出荷先は約8割が県内となっている。

資料／鳥取県農林水産業の概要(H28年度)

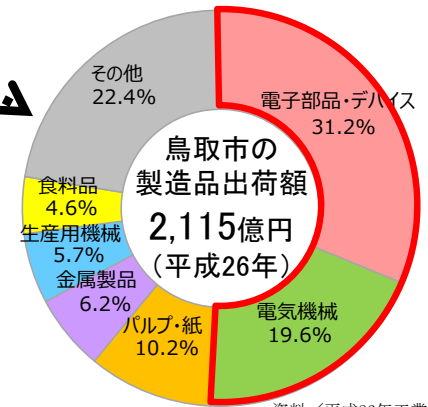
資料／鳥取県市町村民経済計算(H25年度)

■鳥取県の工業(製造業)の状況

〔製造品出荷額(上位5位)〕



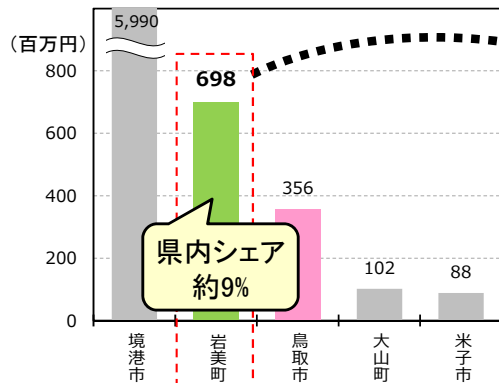
〔鳥取市の産業分類別の製造品出荷額割合〕



資料／平成26年工業統計調査

■鳥取県の水産業の状況

〔水産業の総生産(上位5位)〕



〔岩美町の魚種別の漁獲〕

魚種	漁獲量 (ト/年)	備考
ずわいがに	683	全国1位
はたはた	785	全国1位
かれい類	1,841	全国2位

資料／農林水産省 海面漁業生産統計調査算(平成26年)



▲ずわいがに



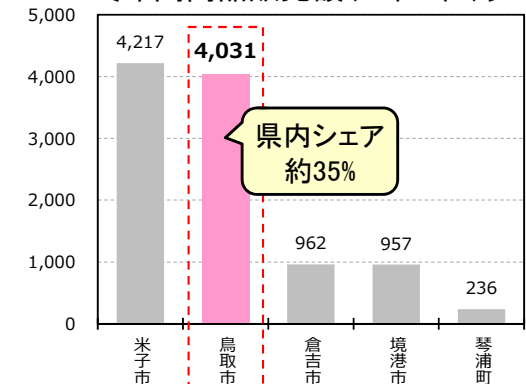
▲はたはた

写真／鳥取県ホームページより

資料／鳥取県市町村民経済計算(H25年度)

■鳥取県の商業(卸売・小売業)の状況

〔年間商品販売額(上位5位)〕

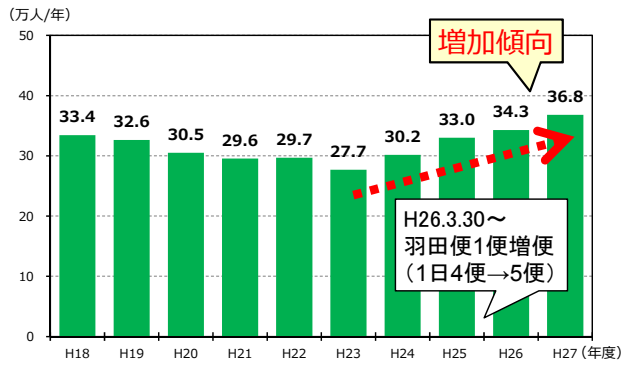


資料／平成26年商業統計調査

2-5. 空港・港湾の状況

- 鳥取東部地域における空と海の玄関口である鳥取空港と鳥取港は、市の総合計画や都市計画マスタープラン等において、地域活性化のための利用促進が構想されており、様々な施策が実施されている。
- 近年、鳥取空港の利用客数や鳥取港の取扱貨物量は増加傾向となっている。
- また、両港が持つ機能を最大限に活かし、賑わいある拠点の形成を図るため、両港を最短で結ぶ(県)鳥取空港賀露線の整備が進められている。

【鳥取空港（鳥取-東京便）の利用状況推移】



資料／鳥取県地域振興部交通政策課

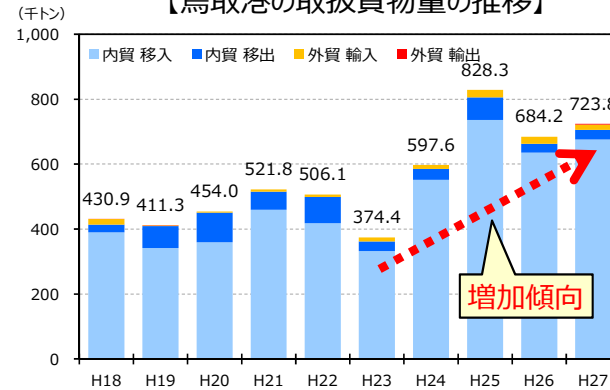
《鳥取空港の主な利用促進策》

- ・愛称「鳥取砂丘コナン空港」の採用
- ・平成26年3月30日から羽田便を増便（4往復／日⇒5往復／日）
⇒平成27年12月には更に2年間の増便延長が決定
- ・周遊バスの運行や循環バスの空港への乗り入れ
- ・レンタカー割引などの観光キャンペーンの実施



周遊バスの運行やラッピング

【鳥取港の取扱貨物量の推移】



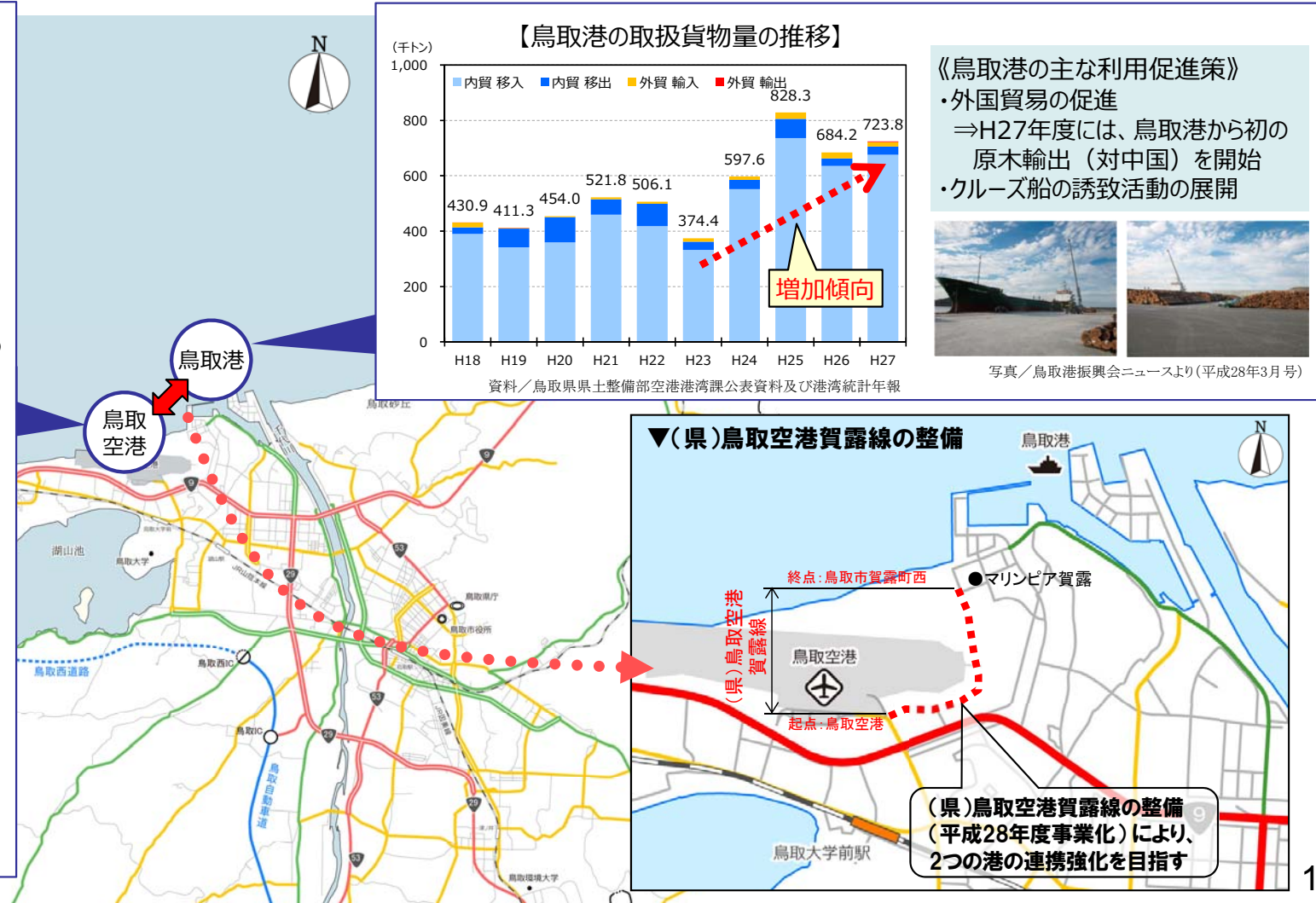
資料／鳥取県県土整備部空港港湾課公表資料及び港湾統計年報

《鳥取港の主な利用促進策》

- ・外国貿易の促進
⇒H27年度には、鳥取港から初の原木輸出（対中国）を開始
- ・クルーズ船の誘致活動の展開



写真／鳥取港振興会ニュースより(平成28年3月号)



▼(県)鳥取空港賀露線の整備

終点：鳥取市賀露町西 ●マリンピア賀露

起点：鳥取空港

(県)鳥取空港賀露線

鳥取大学前駅

(県)鳥取空港賀露線の整備(平成28年度事業化)により、2つの港の連携強化を目指す

3. 道路の状況と課題

3-1. 交通特性（現況交通量）

○鳥取東部地域周辺の交通量は、鳥取市内に近づくにつれて多くなり、最大は国道9号の鳥取大橋付近で約418百台/日となっている。また、南北主要幹線軸である国道29号では鳥取市徳尾付近で最大395百台/日、国道53号では鳥取市田園町付近で最大234百台/日となっている。

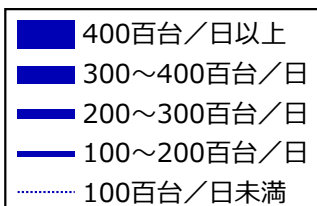
■鳥取東部地域周辺の交通量(国道以上)



3-1. 交通特性（現況交通量と主要路線のOD内訳）

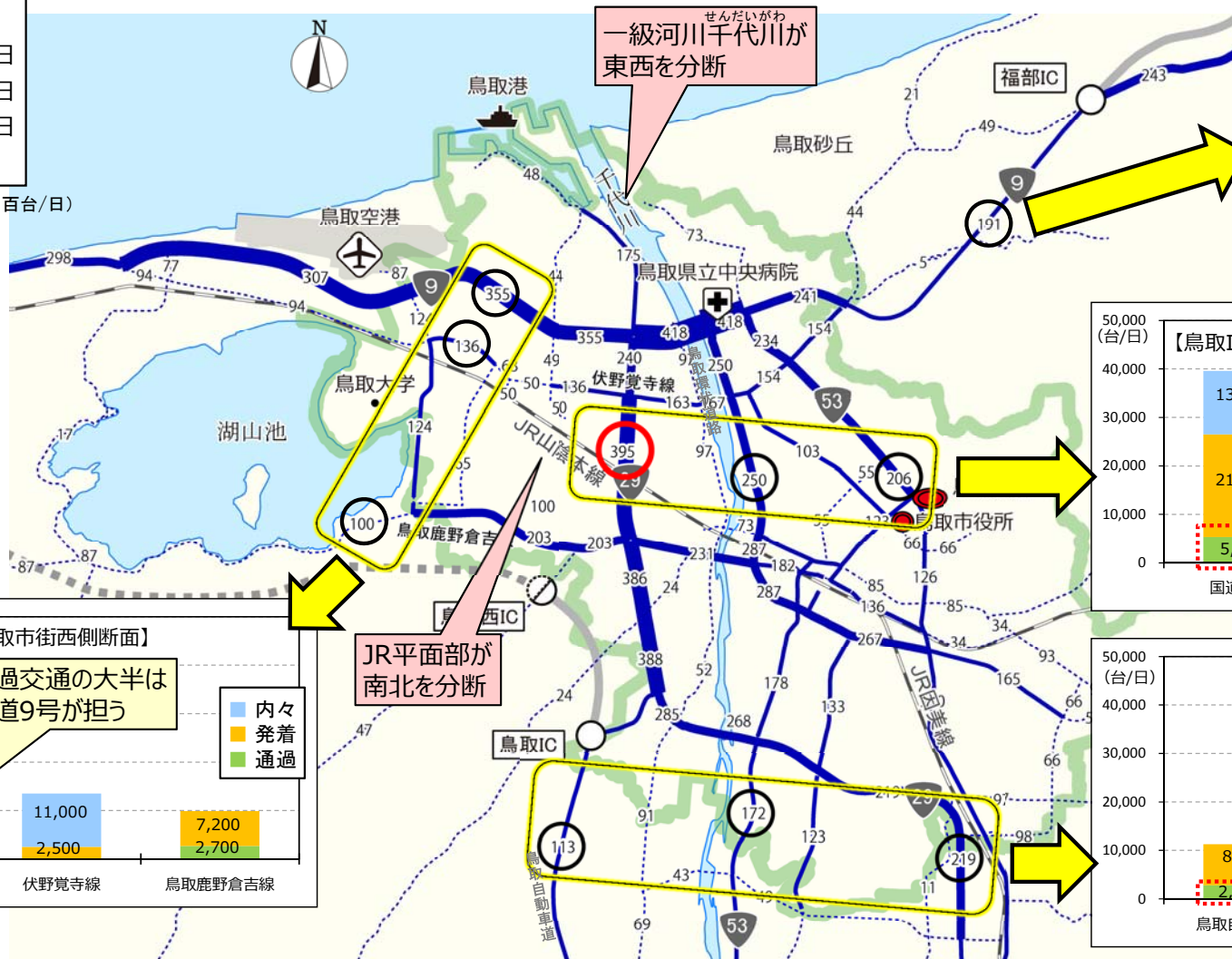
○鳥取市街では、千代川とJR山陰本線が都市を分断し、東西方向は国道9号に交通が集中している。
 ○南北方向は、鳥取自動車道と国道29号、国道53号が分担しているが、鳥取IC以北において、通過交通は国道29号に集中し、当該区間は多様な交通が混在する区間となっている。

【現況交通量と主要路線のOD内訳】

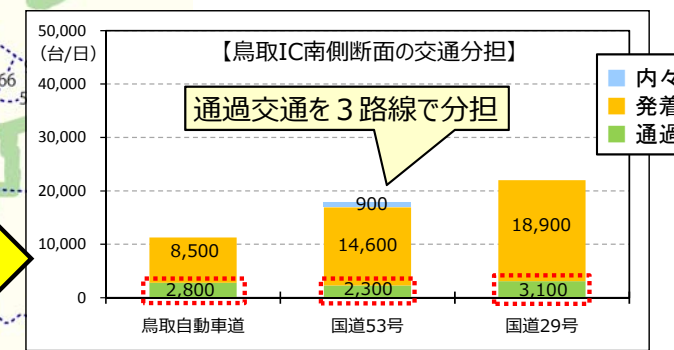
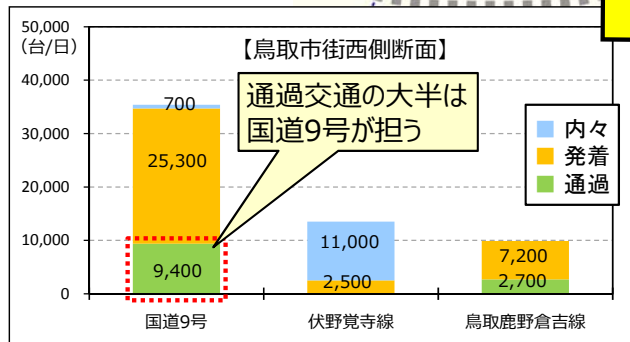
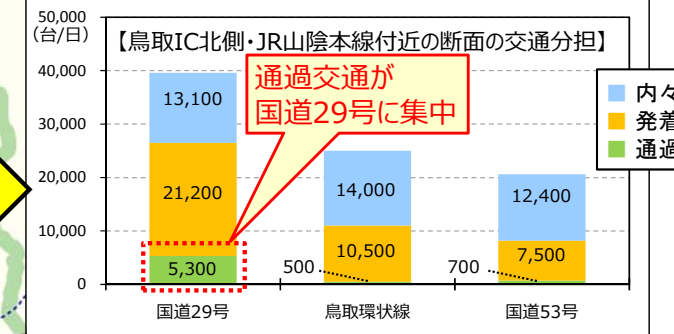
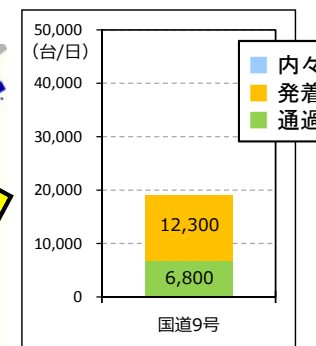


※図中の数字は交通量（単位：百台/日）

■OD内訳の集計について
 ○内々交通量集計範囲



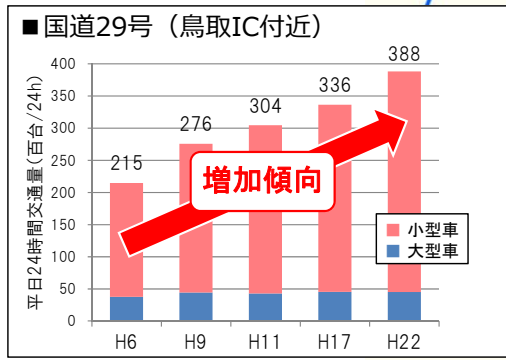
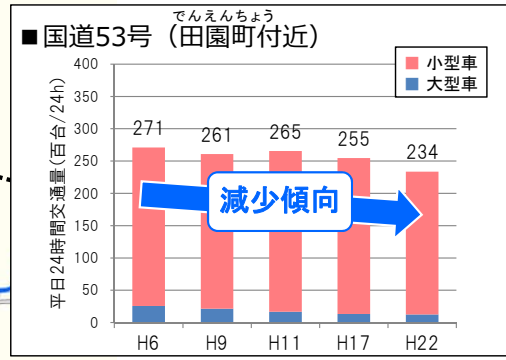
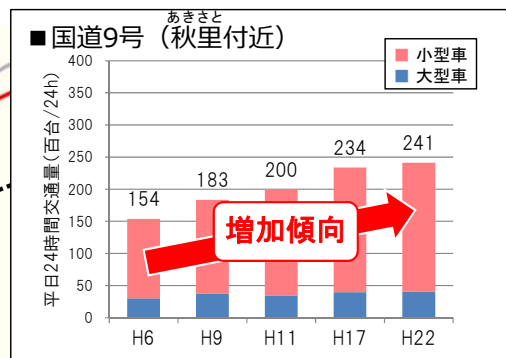
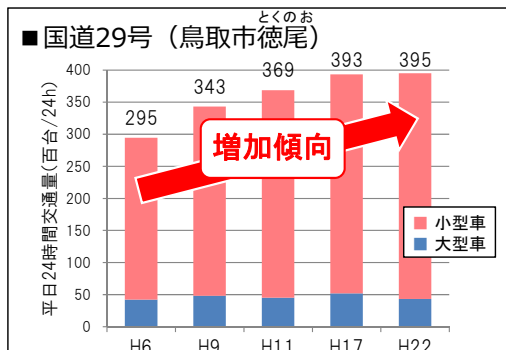
【鳥取市街東側断面】



資料/現況交通量:H22道路交通センサス、OD内訳:H17センサスODによるH22現況再現結果により集計

3-2. 交通渋滞の状況

○国道9号や国道29号の南限・千代水エリア付近や、国道53号等の市内中心部付近の幹線道路で混雑度が高くなっており、主要渋滞箇所が連続して存在している。
 ○混雑度の高い路線のうち、国道53号の交通量は減少傾向にあるが、国道29号および国道9号の交通量は増加傾向で需要が高まっている。



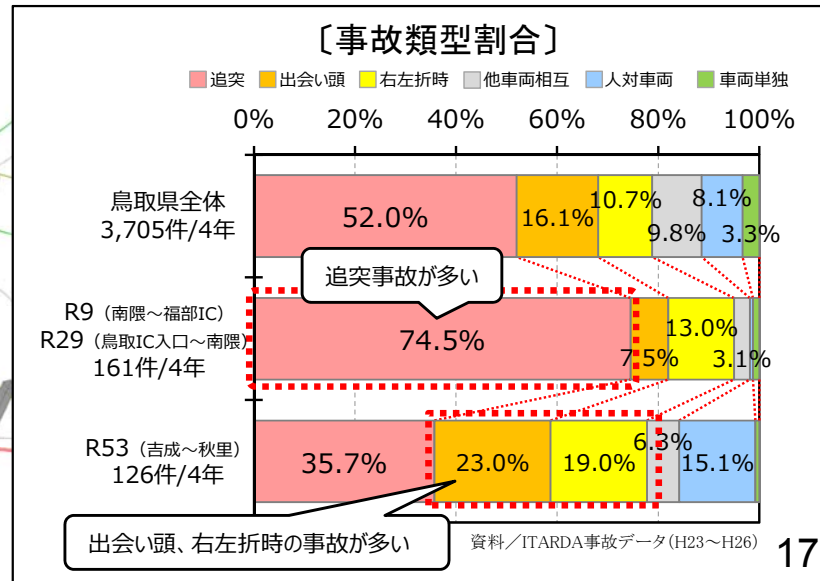
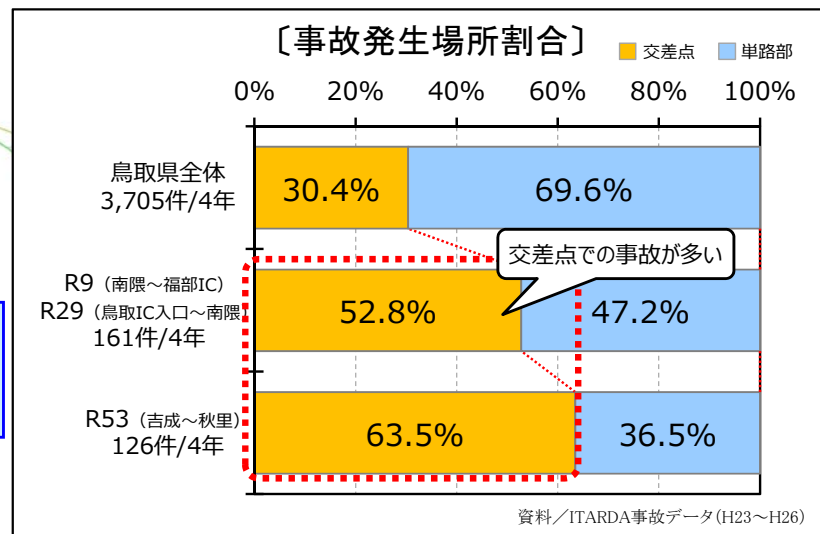
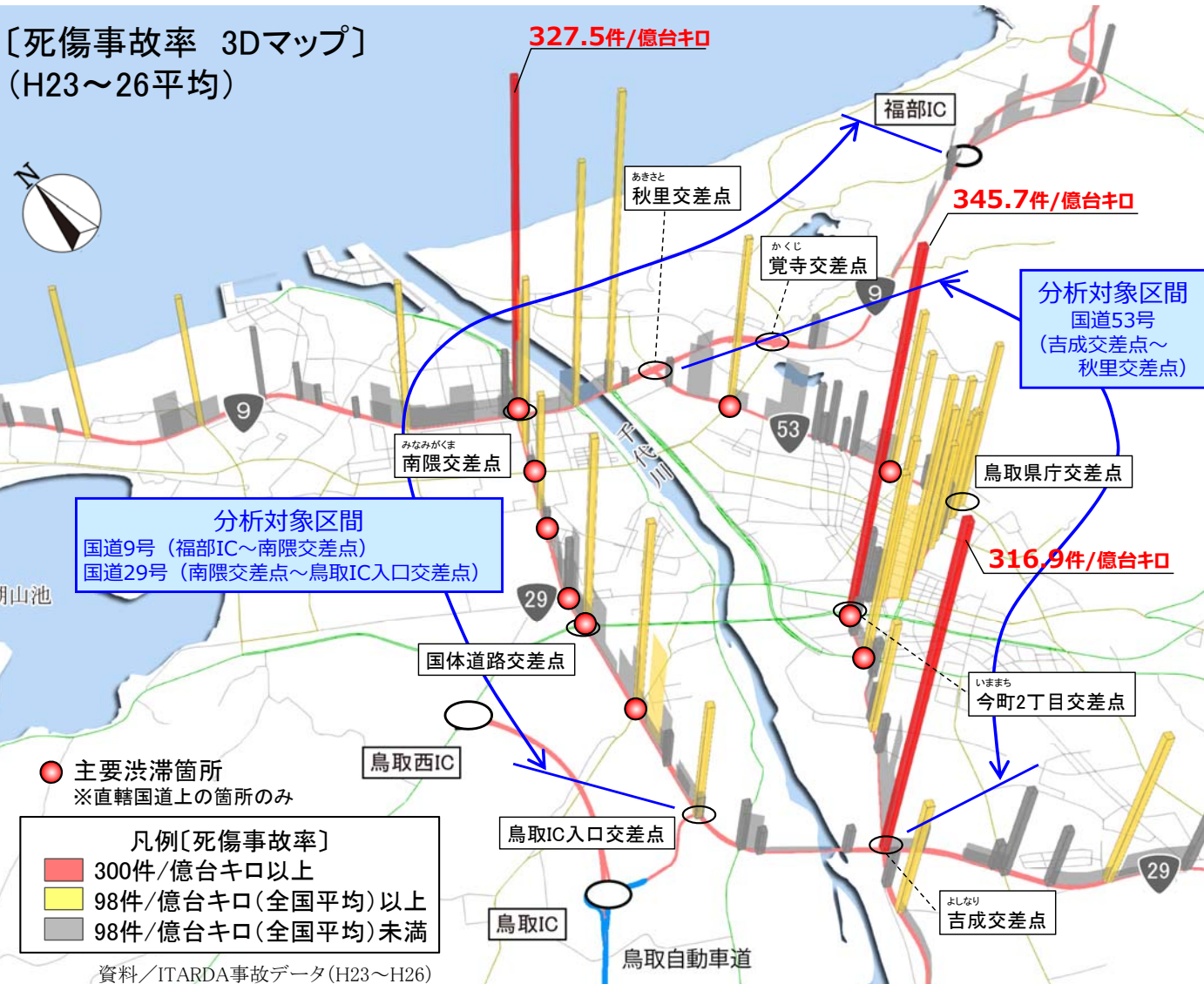
※主要渋滞箇所について
 エリア：都市部等、混雑区間・箇所が面的に広がっており、複数路線に跨り複数の主要渋滞箇所を含む区域
 区間：交差点等が連担するなど、速度低下箇所が連続しており、複数の主要渋滞箇所を含む区間

資料/交通量:H6~H22道路交通センサス
 混雑度:H22道路交通センサス
 主要渋滞箇所:中国地方整備局

3-3. 交通事故の状況

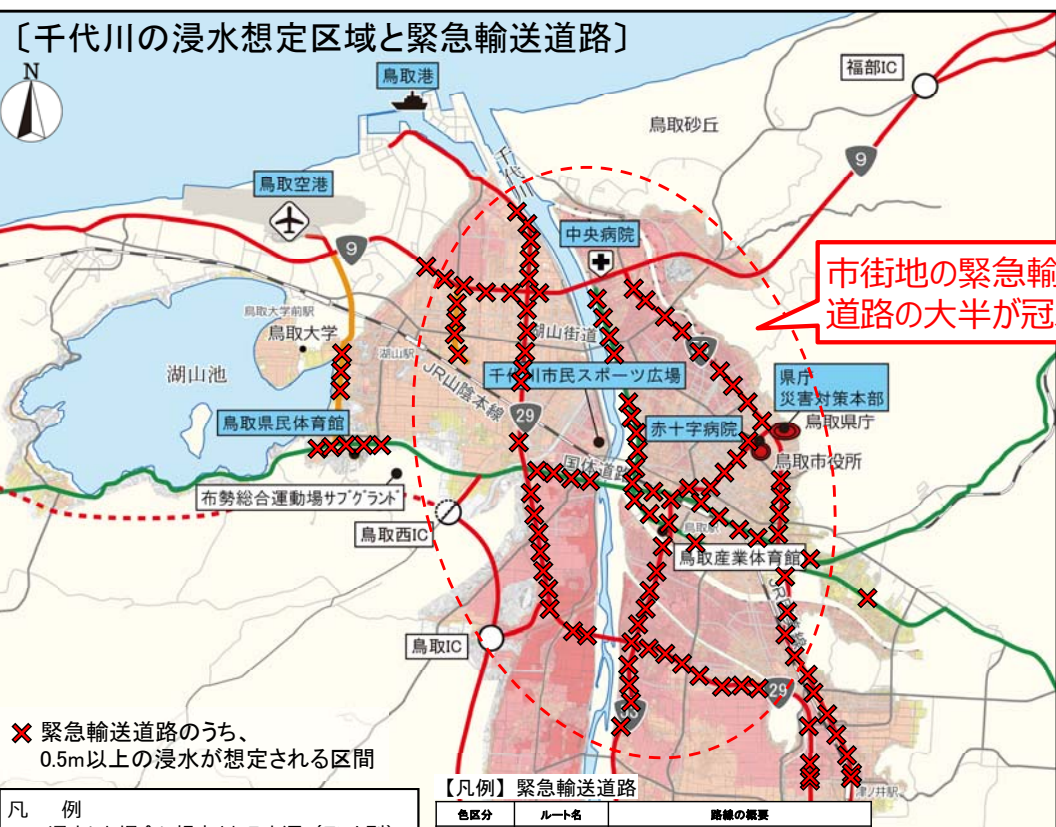
- 鳥取市街における幹線道路では、死傷事故率が全国平均(98件/億台キ_ロ)を越える区間が多数存在。
- 通過交通が多い国道9号・29号では、主要渋滞箇所が連続しており、交差点付近での急な速度変化による追突事故が発生しやすい状況にある。
- 国道53号では、出会い頭や右左折時の事故割合が高く、沿道からの出入交通が多いことが要因と考えられる。

[死傷事故率 3Dマップ]
(H23~26平均)



3-4. 災害時における緊急輸送道路の状況

- 鳥取市街を流れる一級河川千代川の洪水により、緊急輸送道路に指定される国道29号や53号の冠水が想定され、救命・救助や物資輸送など緊急活動に支障をきたすことが懸念される。
- 災害時に、人命保護や迅速な復旧を実現するには、拠点間を繋ぎ災害時にも機能する道路網の構築が必要。
- 鳥取豊岡宮津自動車道は、東日本大震災によって浮き彫りとなった、国全体のリスク分散やバックアップ体制の確立のため必要とされる”日本海国土軸”の一部を担う道路である。



凡例

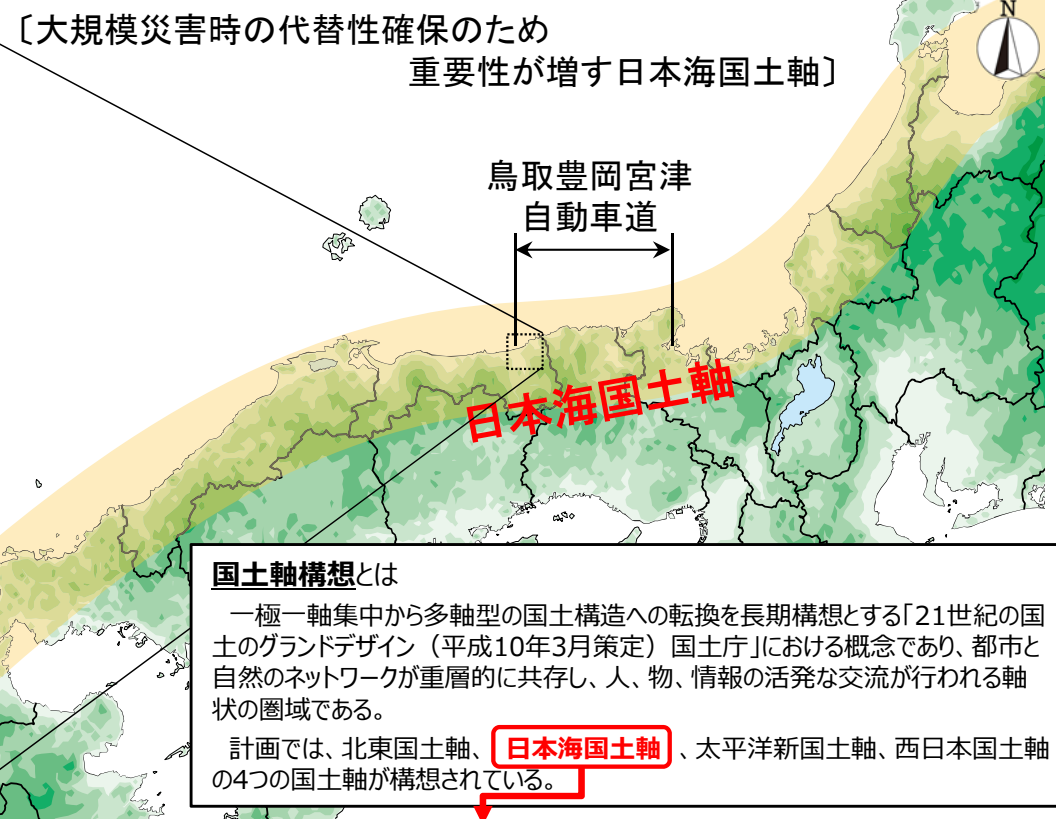
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 5.0～10.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

〔凡例〕緊急輸送道路

色区分	ルート名	路線の概要
赤	第1次ルート	県庁及び県内外の地方中心都市を連絡し、それらと主要港湾、空港を結ぶ道路
緑	第2次ルート	第1次ルートと市町村役場及び主要な防災拠点を連絡する道路
黄	第3次ルート	1次、2次ルートの代替機能を有する道路

■：災害医療拠点、空港、港湾、物流拠点（物資の集配施設）
 □：災害時のヘリポート



鳥取県における日本海国土軸の位置付け

東アジア諸国やロシアの経済活動の活発化による日本海側の貿易拡大を背景に、経済面及び**防災面において日本海側を活用していくことの重要性が高まっており**、山陰道、山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）、境港や鳥取港から高速道路網へのアクセス改善等、交通物流のミッシングリンク解消を図り、日本海側における国土軸を形成することが必要である。

鳥取県国土強靱化地域計画（平成28年3月策定）より

資料／千代川水系 洪水浸水想定区域図(想定最大規模) 千代川流域の48時間総雨量 508mm 作成主体 鳥取河川国道事務所(平成28年6月9日公表)

資料／鳥取県地域防災計画(平成27年度) ※災害予防編(共通)の交通・輸送計画より

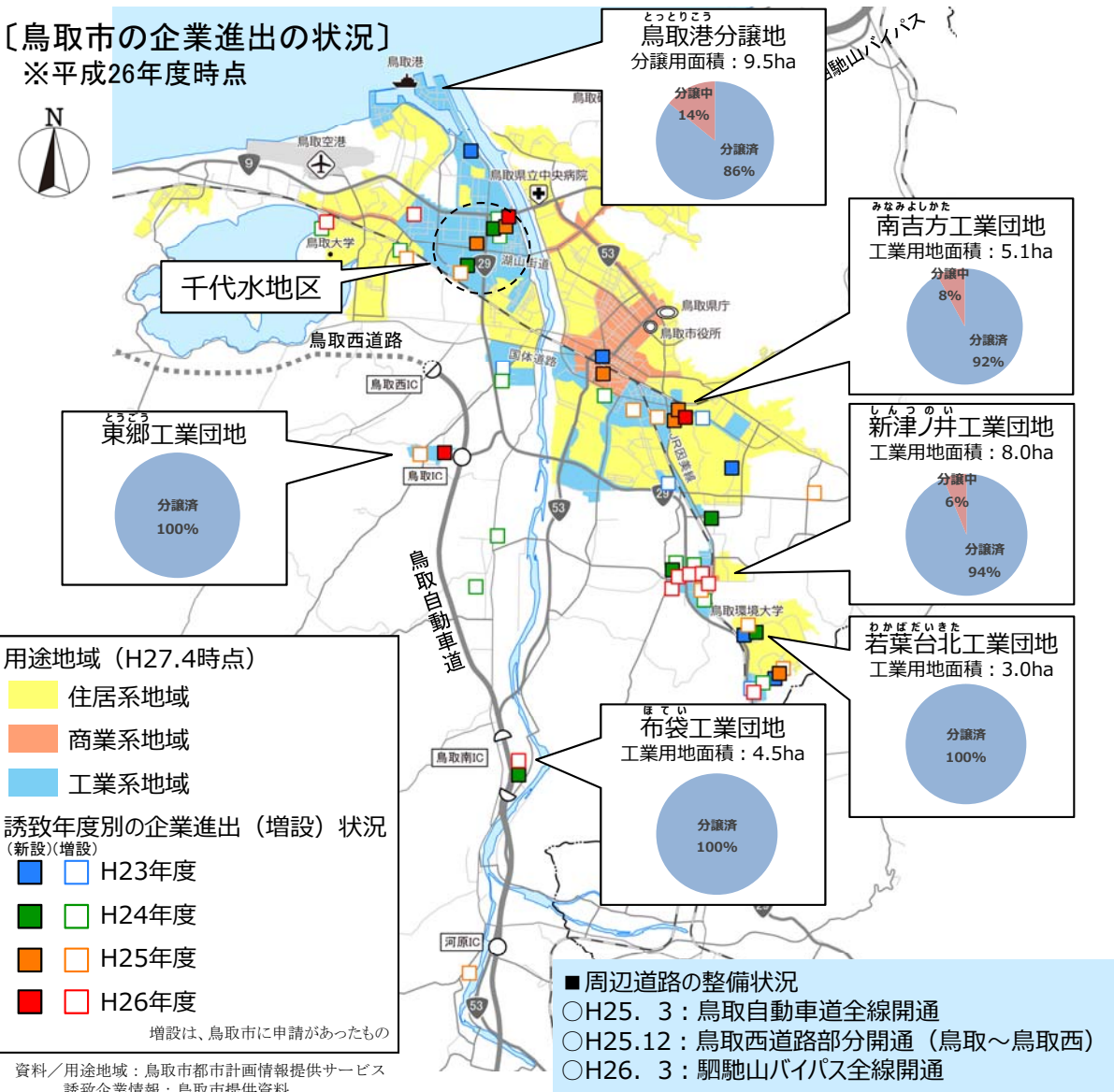
4. 地域の状況と課題

4-1. 商工業の現状と課題①

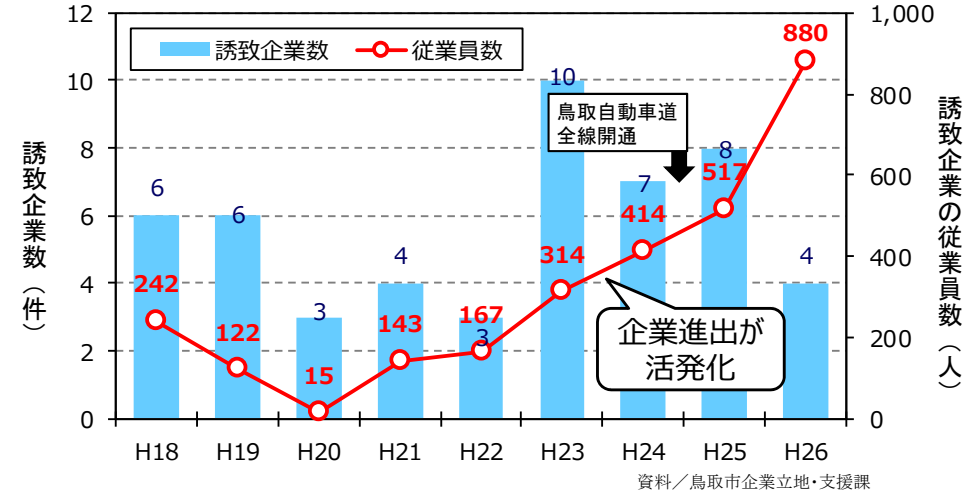
○鳥取市では、鳥取自動車道(平成25年3月全線開通)の整備やそれを見据えた企業誘致活動により、千代水地区や南吉方工業団地、津ノ井工業団地などの工業系地域を中心に企業進出や設備増設が活発化している。
 ○企業進出や既存企業の設備投資に伴い、有効求人数も増加傾向が著しく、雇用環境は回復基調に転じている。

〔鳥取市の企業進出の状況〕

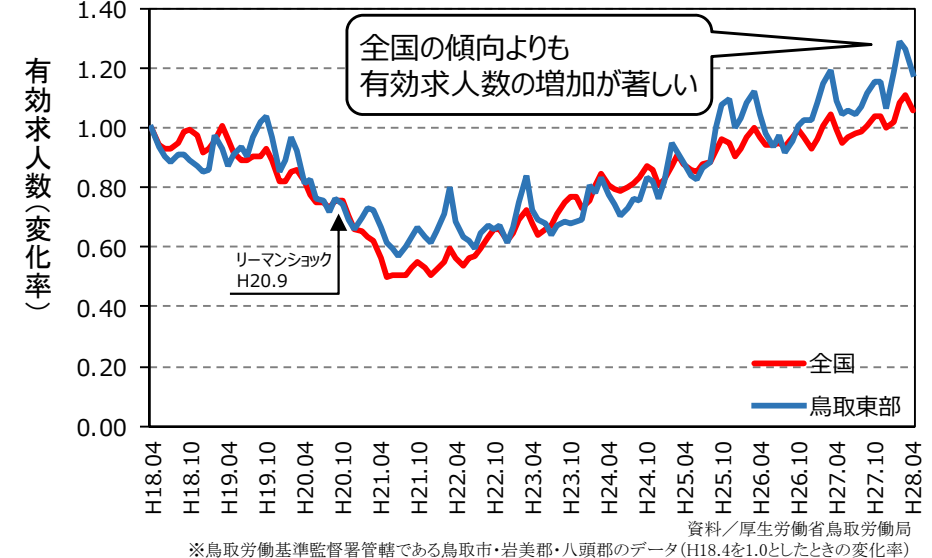
※平成26年度時点



〔鳥取市の誘致企業数と従業員数の推移〕



〔鳥取東部地域と全国の有効求人数の推移〕

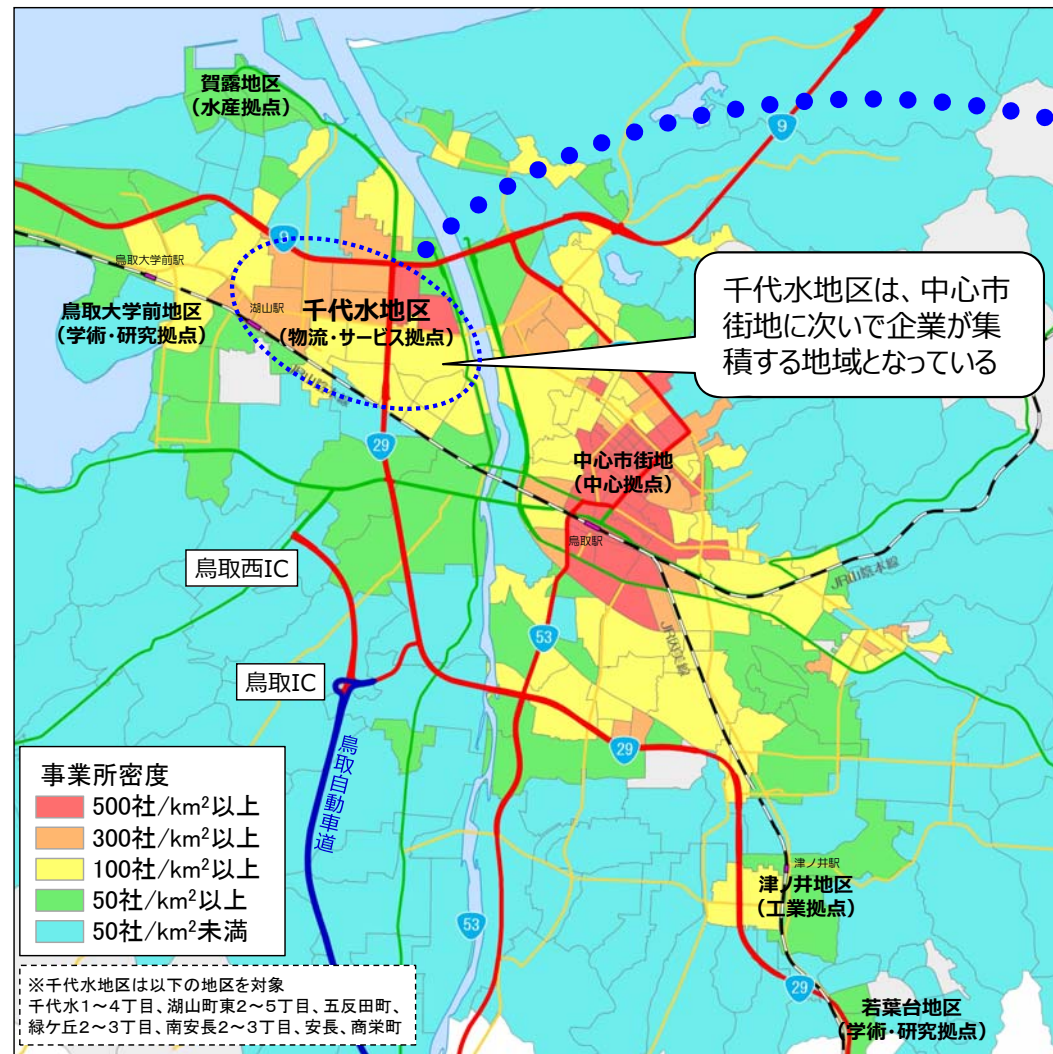


資料/用途地域：鳥取市都市計画情報提供サービス
 誘致企業情報：鳥取市提供資料

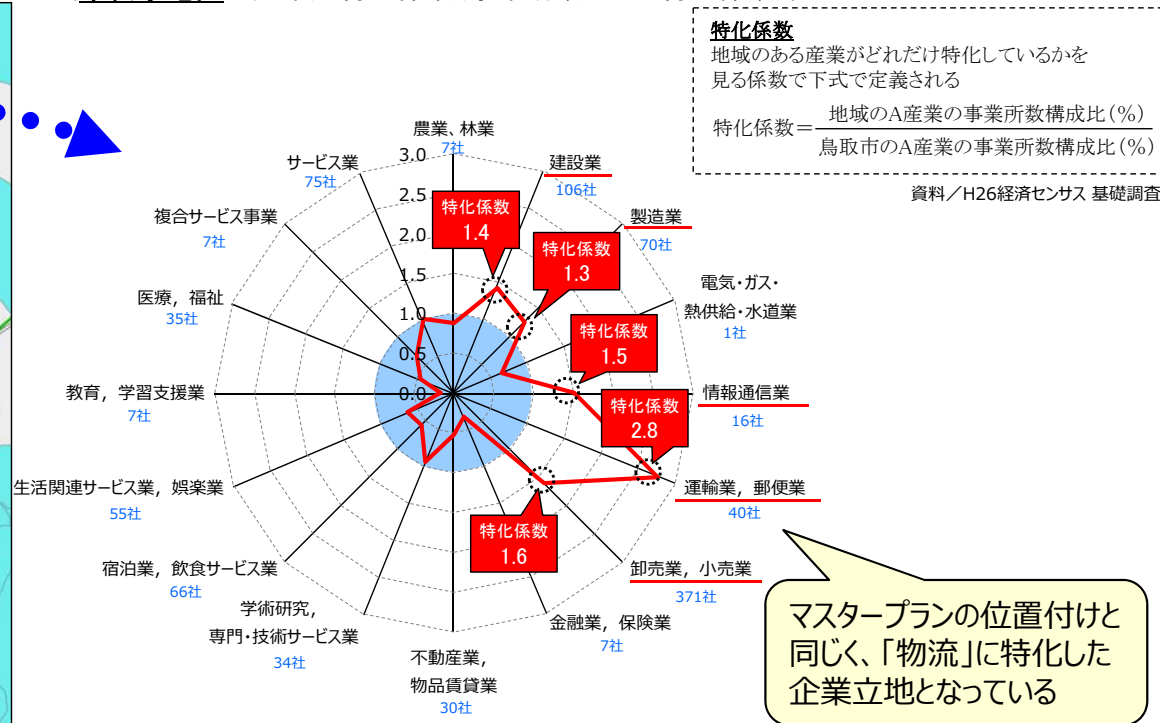
4-1. 商工業の現状と課題②

○国道9号と国道29号の交差点付近に位置する千代水地区は、鳥取市都市計画マスタープランにおいて、国際的・広域的な産業の活性化を図ることを目的に「物流・サービス拠点」として位置付けられている。
 ○これらの位置付けから、千代水地区では中心市街地に次いで企業が集積する地域となっており、立地する企業も「運輸・郵便業」「卸売・小売業」などの物流関連の企業に特化している。

〔鳥取市街における企業立地状況〕



〔千代水地区の産業別特化係数(事業所数による特化係数)〕



《都市計画マスタープランにおける千代水地区の整備方針》

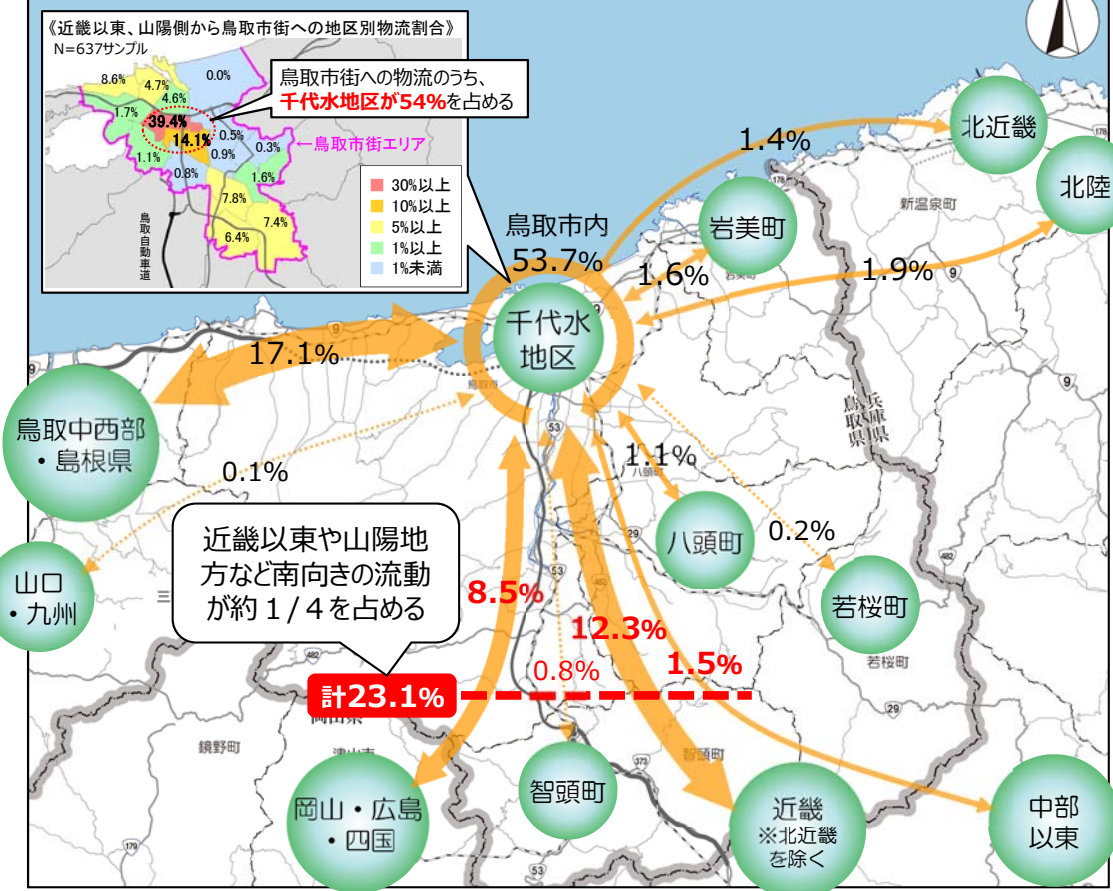
- ・流通業務、工業用地として土地利用を促進する。
- ・港湾、空港への近接性、今後の高速道路網の進展など優位な立地環境を活かし、企業ニーズ等を勘案しつつ積極的な土地利用施策に努める。

資料/鳥取市都市計画マスタープラン(案)(H28.3)地域別構想より

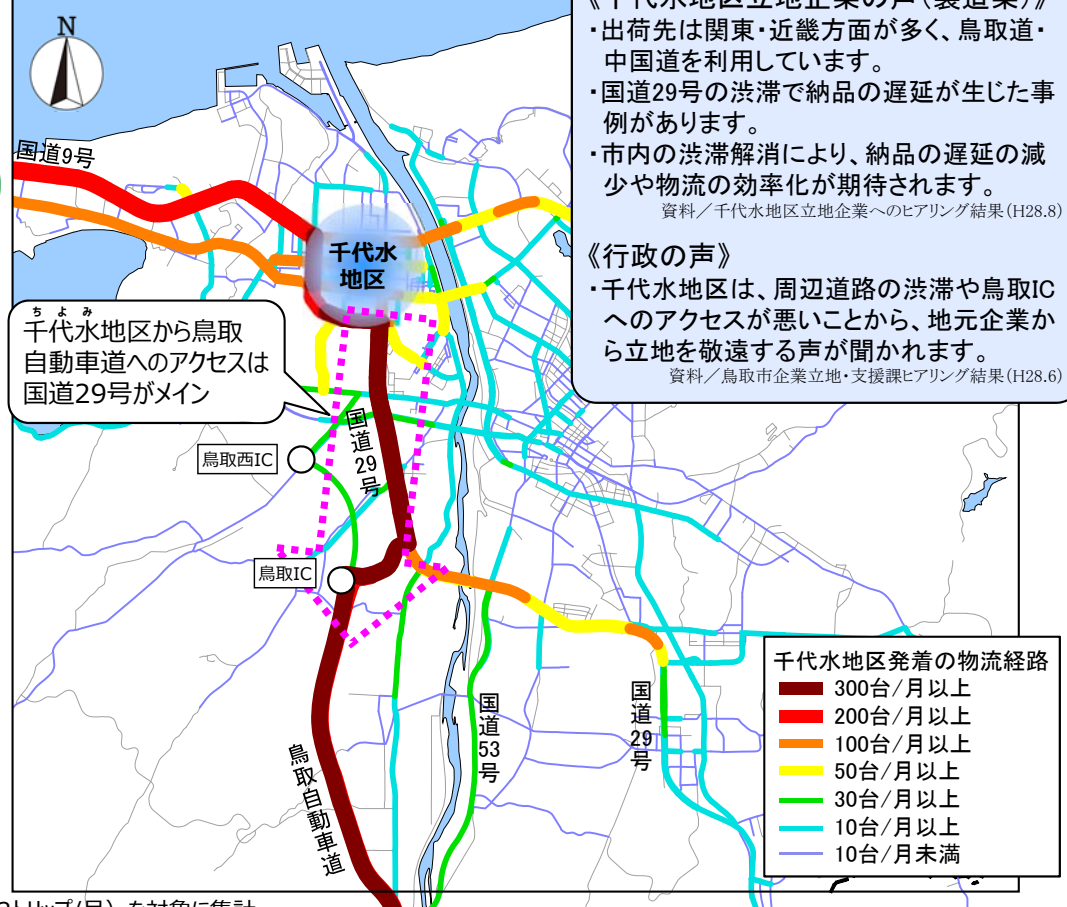
4-1. 商工業の現状と課題③

- 鳥取道の全線開通の影響もあり、千代水地区を発着する物流の約1/4が近畿以東や山陽側などの南向きの流動であり、近畿地方や山陽地方との結びつきは重要である。
- また、千代水地区は近畿以東や山陽側から鳥取市街への物流のうち、半数以上(約54%)を占めており、物流拠点として重要な役割を担っている。
- しかし、当該地区からの物流は、主要経路である国道29号の慢性的な渋滞により、物流活動への支障が発生しており、高速ICまでのアクセス改善が重要な課題となっている。

【鳥取市千代水地区を発着する物流状況】



【鳥取市千代水地区発着の物流経路】



資料/FUJITSU 商用車プローブサービス (2016年6月の一ヶ月間のデータ) ※千代水地区を発着とする物流(2,432トリップ/月)を対象に集計
 ※FUJITSU商用車プローブサービスは、富士通製の運行記録計を装着して走行する中・大型事業用貨物車の挙動情報で、収集対象車両数は全国で9.5万台(2016年時点)

4-2. 水産業の現状と課題

- 岩美町では水産業が基幹産業の一つであり、かれい類やずわいがには、全国的にもトップシェアの漁獲量を誇り、岩美町地域創生総合戦略(H27.9)でも重点戦略として高付加価値化や販路拡大を支援し、持続可能な産業に発展させていく位置付けとなっている。
- 岩美町で水揚げされた水産物は全国へ出荷されており、輸送時間の短縮による販路拡大支援が重要である。

〔県外出荷先割合〕

※鳥取県内除く



▲ 赤がれい

写真:鳥取県ホームページより

その他
50%

京阪神・
名古屋
50%

鳥取市内を
通過



▲ ずわいがに (松葉ガニ)

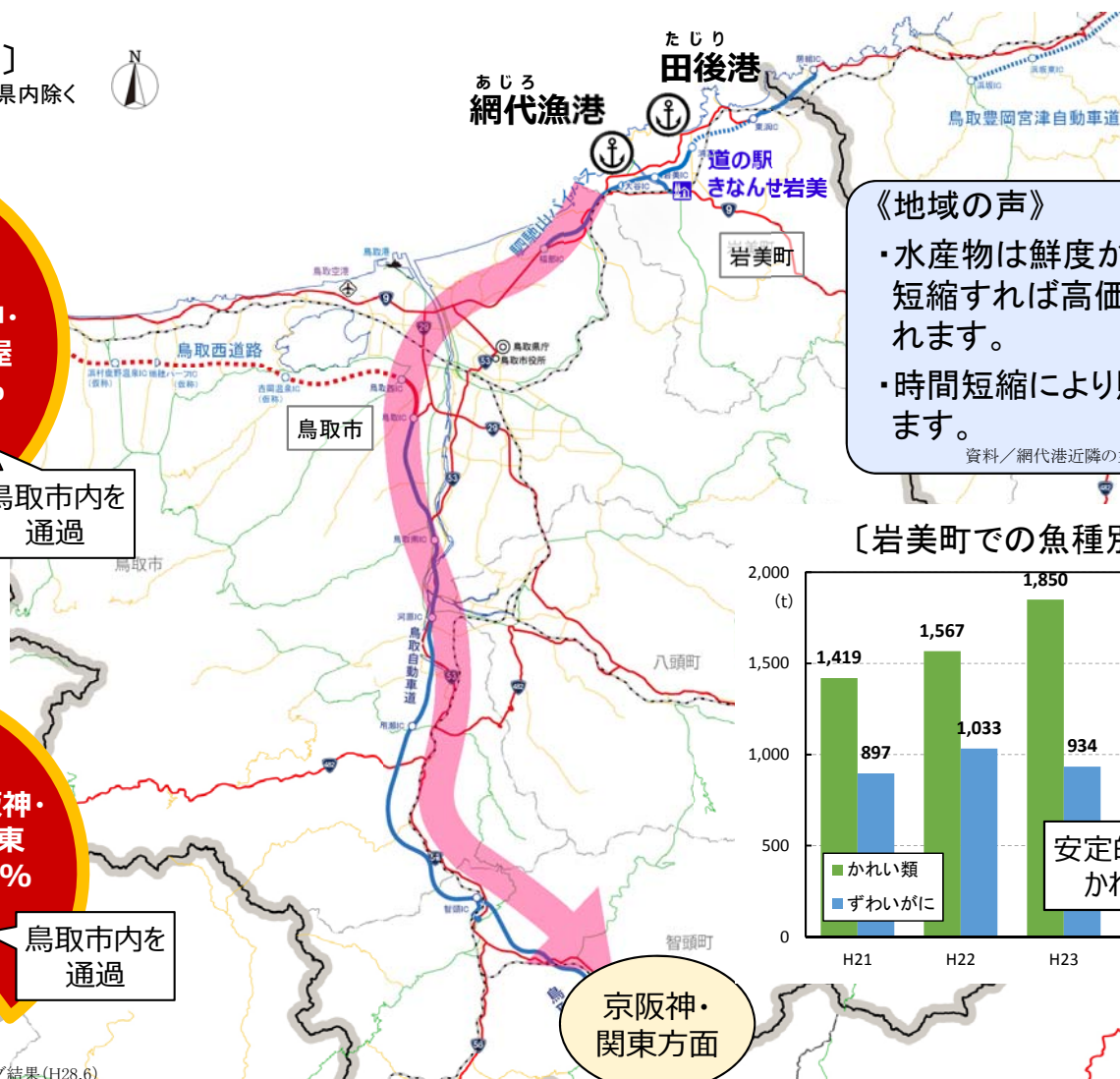
写真:鳥取県ホームページより

その他
60%

京阪神・
関東
40%

鳥取市内を
通過

京阪神・
関東方面

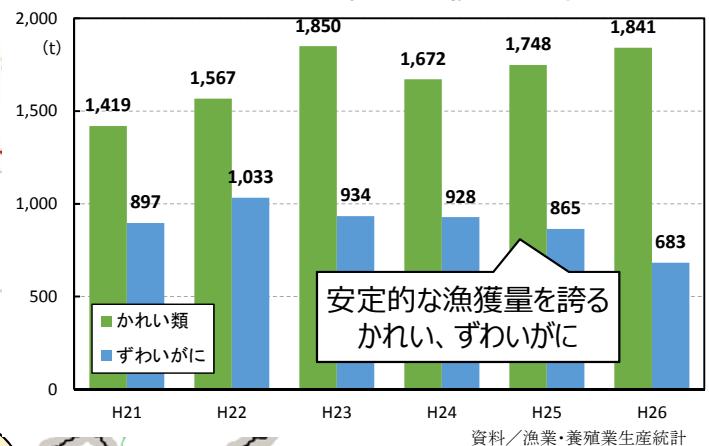


《地域の声》

- ・水産物は鮮度が命です。運搬時間が短縮すれば高価格での取引も期待されます。
- ・時間短縮により販路拡大が期待されます。

資料/網代港近隣の主な水産卸売業者へのヒアリング結果(H28.6)

〔岩美町での魚種別漁獲量の推移〕



安定的な漁獲量を誇る
かれい、ずわいがに

資料/網代港近隣の主な水産卸売業者へのヒアリング結果(H28.6)

《参考》農水産業の振興に関する鳥取県の取り組み

- 鳥取県では「食のみやこ鳥取県」として、加工品支援やメニュー開発、地域づくり、地産地消・県産品の消費拡大に向けた様々な施策を実施している。
- 鳥取県栽培漁業センターでは、新たなブランドとして、生食可能なマサバ『お嬢サバ』を養殖し、試験販売を実施。
- また、岩美町においても6次産業化に向け、農水産物の販売拠点となる道の駅「きなんせ岩美」が平成27年7月にオープン、農林水産業の収益性を高める取り組みを推進している。

【食のみやこ鳥取県】

- 鳥取県は、食による地域振興を目的に平成19年に「食のみやこ鳥取県」を発足。
- 県の施策は、加工品支援やメニュー開発、地域づくり、地産地消など多岐にわたり、様々な角度から農水産品の市場開拓に向けた支援を実施

鳥取県ふるさと認証食品とは

鳥取県の農林水産物で作った加工食品などのことです。



鳥取県ふるさと認証食品HP



ふるさと認証食品
鳥 取 県

県内で製造される加工食品を「ふるさと認証食品」として認証し、他商品と差別化。各種イベントで認証食品を県内外の消費者へ広くPR。

県内水揚げの最高級を「特選 とっとり松葉がに五輝星（いっきぼし）」に認定し、松葉がにのトップブランドとして全国へ販売。



写真／鳥取県ホームページより

【鳥取発の高付加価値マサバ「お嬢サバ」】

- 鳥取県栽培漁業センターは、生食用マサバ『お嬢サバ』を試験養殖し、新たなブランド化を推進
- 国内大都市や海外での高評価を受け、本格的な生産体制構築に向け、岩美町へ養殖施設整備を検討



鳥取生まれの箱入り椀
お嬢サバ
生食可能な高付加価値マサバ「お嬢サバ」

写真／鳥取県ホームページより

【岩美町地域創生総合戦略】

- 重点戦略のひとつとして、農林水産業の高付加価値化や販路拡大を支援し、農林水産業を生業として持続可能な産業へ発展させるための事業を実施

岩美町内の農水産物の販売拠点として、道の駅「きなんせ岩美」をオープン



写真／岩美町ホームページより

4-3. 観光面での現状と課題①

○鳥取市と山陰や山陽、近畿方面を結ぶ公共交通はある程度確保されているものの、北近畿方面との間には特急列車が2～6便/日と非常に少なく、当該地域での移動は自動車に頼らざるを得ない状況にある。

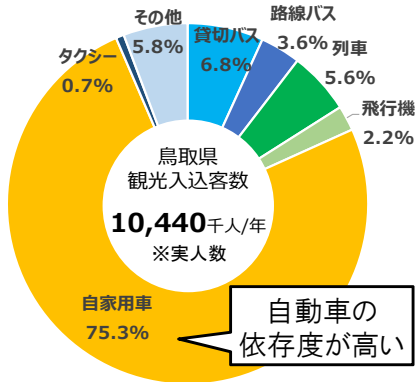
〔公共交通(特急列車・高速バス)の運行状況〕

鳥取～大阪:2便/日
 浜坂～大阪:2便/日
 香住～大阪:2便/日

都市と観光地を結ぶ公共交通は確保されているが、観光地と観光地を結ぶ公共交通が脆弱



〔鳥取県の利用交通機関別観光入込客数〕



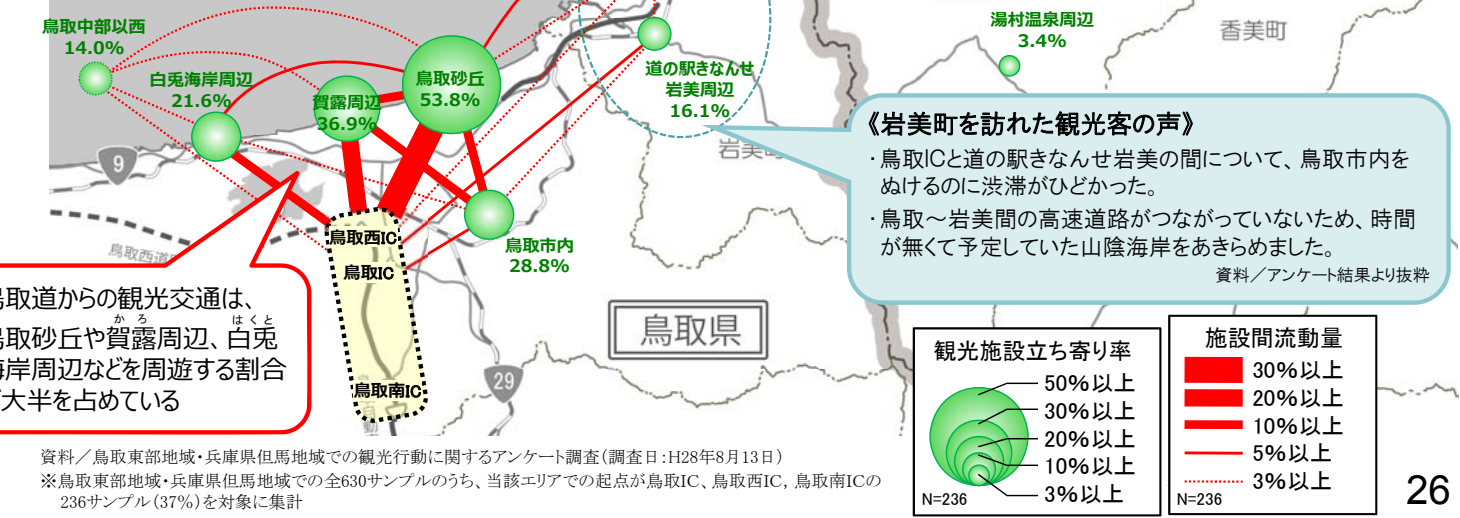
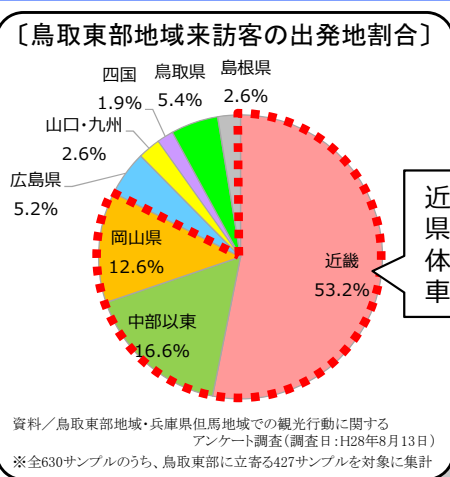
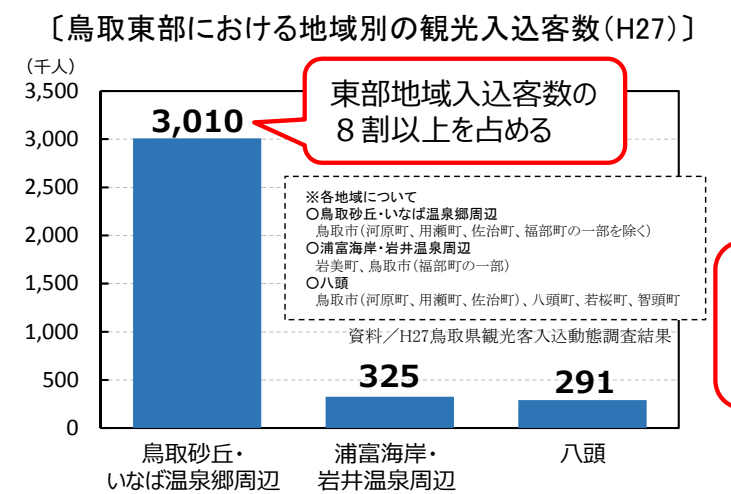
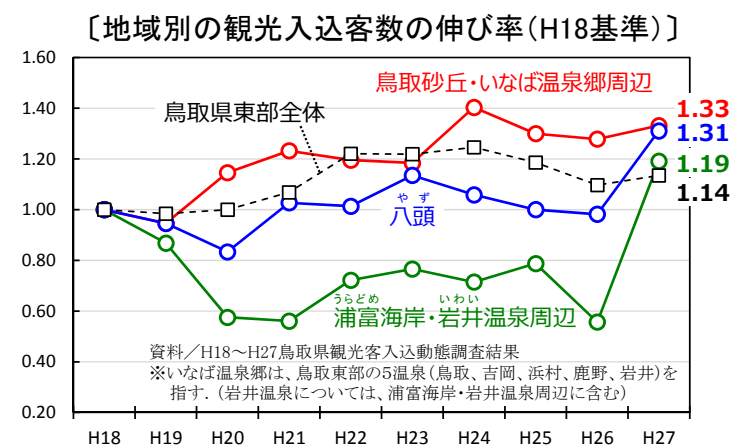
資料／鳥取県「平成27年観光客入込動態調査結果」

資料／特急列車:JR西日本HP、ジョルダンHP(参照日:2016年10月13日)
 高速バス:NAVITIME(参照日:2016年10月13日)
 ※便数は全て片道便数を示す

4-3. 観光面での現状と課題②

- 鳥取砂丘周辺エリアの観光客数は、鳥取自動車道の開通やPR活動等により増加傾向にある。
- また、浦富海岸・岩井温泉周辺では、駈馳山バイパス開通(平成26年3月)や世界ジオパークネットワークへの加盟再認定(平成26年9月)によるアクセス性や認知度の向上で、平成27年の観光入込数は増加に転じている。
- しかし、鳥取東部の観光入込は依然として鳥取砂丘周辺が大半を占める状況で、岩美町を訪れる観光客からは、鳥取市内の渋滞や高速道路の連続性に関する課題が挙げられており、高速道路ネットワークの形成による更なる観光客増加が期待される。

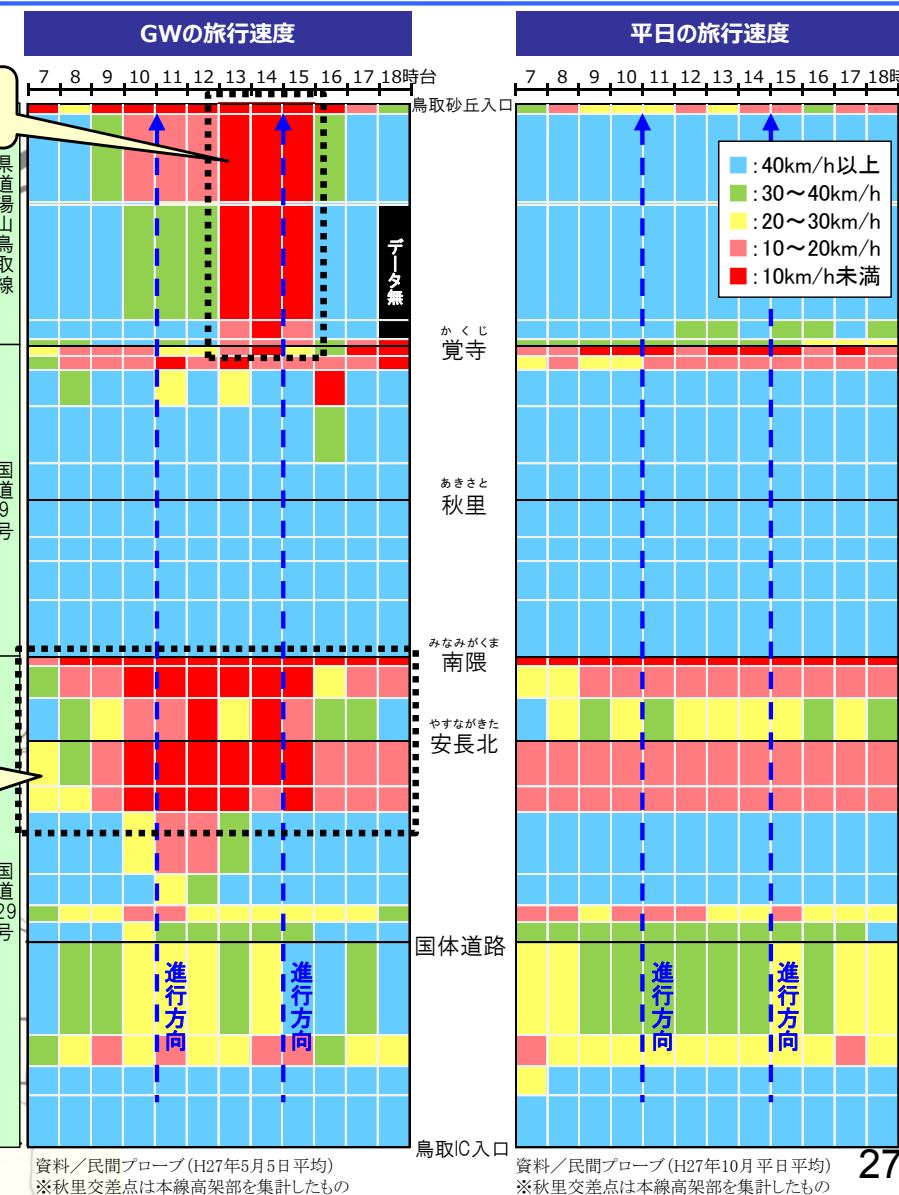
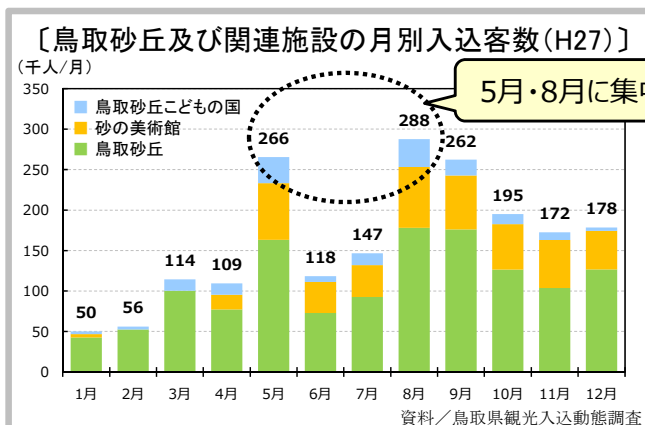
鳥取東部地域における観光動態



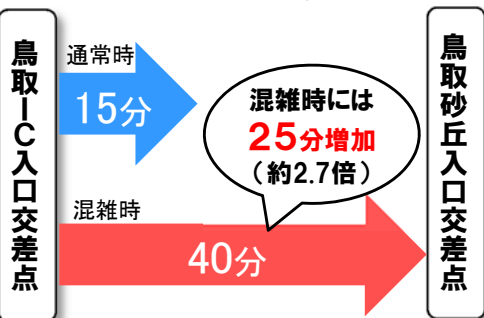
4-3. 観光面での現状と課題③

- 鳥取砂丘では、GWや盆休みなどの連休を含む5・8月に観光客が集中している。
- 鳥取ICから鳥取砂丘へのアクセスは、GW期間中の混雑時には、通常時の3倍近く時間を要し、国道29号を中心に著しい速度低下が発生し、観光客のみならず、他の道路利用者全体に影響を及ぼしている。

〔GW期間中の鳥取IC入口交差点～福部IC間の速度分布〕



〔通常時と混雑時の所要時間差〕
(鳥取IC～鳥取砂丘間)



4-3. 観光面での現状と課題④

- 平成22年10月に「世界ジオパークネットワーク」への加盟が認定された『山陰海岸ジオパーク』は、鳥取県・兵庫県・京都府にまたがる広域エリアで、日本海形成に関わる多様な自然を背景とした観光資源を有している。
- 山陰海岸ジオパーク推進協議会では、散策モデルコースなどが紹介され、鳥取県には広域観光・文化振興局が開設されるなど、広域観光促進に向けた取り組みが実施されている。
- 高速ネットワーク整備により、移動時間が短縮し滞在時間が増えることで、広域周遊観光の促進が期待される。

■山陰海岸ジオパークエリアと主な観光施設

鳥取豊岡宮津自動車道



《参考》鳥取砂丘の観光渋滞対策の概要

- 鳥取砂丘周辺では、観光シーズンの渋滞が問題視されており、平成19年頃から様々な渋滞対策を実施している。
- 継続的な対策を実施した結果、渋滞は緩和傾向となっているが、依然として鳥取砂丘周辺及び市街地周辺では渋滞が発生している。

【位置図】

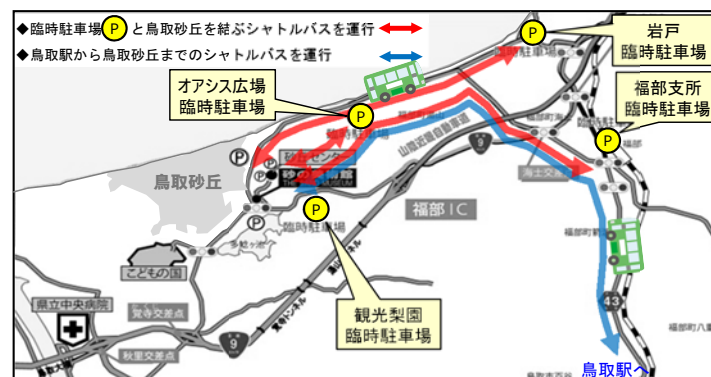


【これまでの渋滞対策実施状況】

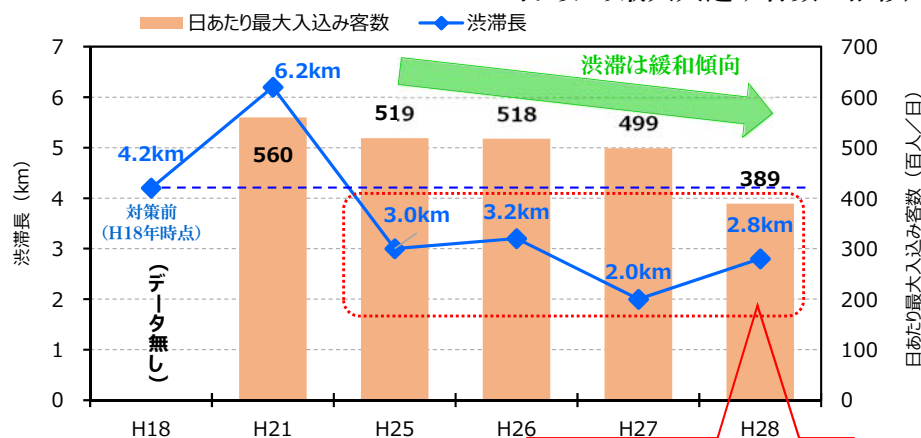
対策実施内容	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
臨時駐車場の設置	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
臨時駐車場のシャトルバスの運行	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
鳥取駅からのシャトルバスの運行			●	●	●	●	●	●	●	●
リーフレットの配布・ポスター掲示	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
WEBによる迂回路案内等									●	●
迂回路への誘導(看板・誘導員)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
リアルタイム情報発信(渋滞・駐車場状況)			●	●	●	●	●	●	●	●

対策1・2 臨時駐車場の開設及びシャトルバス運行

対策3. 道の駅におけるポスター掲示



【対策効果】 (各年度GW期間中における最大渋滞長と日あたり最大入込み客数の推移)



対策の実施により、渋滞は緩和傾向となっている

対策2. シャトルバスの運行



対策4. リアルタイム情報発信(渋滞・駐車場情報)

最新ニュース

【2016年】ゴールデンウィーク鳥取砂丘周辺交通情報(鳥取市提供 4月28日～5月6日掲載)

2016年のゴールデンウィーク期間(4月29日～5月6日)、鳥取砂丘周辺のリアルタイム交通情報を鳥取市の道路交通1課本部が提供

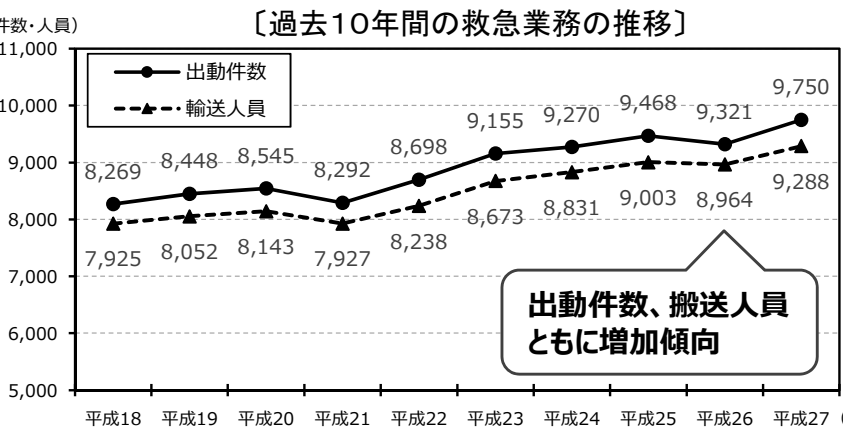
2016年ゴールデンウィーク鳥取砂丘周辺
渋滞・駐車場情報はこちらで確認!

平成28年5月4日(水) 本日の天気:快晴
【13時00分現在】
市営砂丘駐車場 満車(→)
砂の美術館展望駐車場 満車(→)
オアシス広場駐車場 満車(→)
※砂丘東入口交差点から兜寺ランプまで2.2kmの渋滞(→)

4-4. 救急医療面での現状と課題①

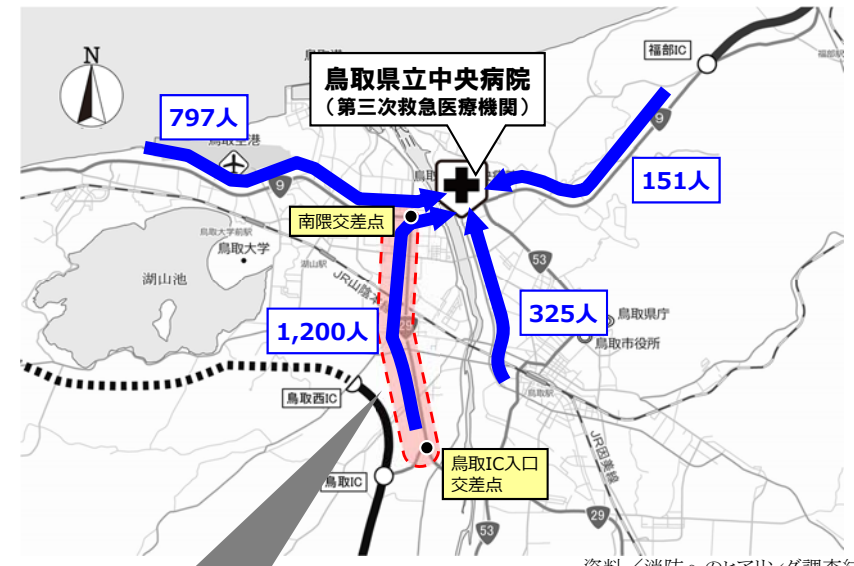
○鳥取東部地域の救急搬送人員は増加傾向にあり、その大半は市街地に立地する医療機関へ搬送されている。
 ○鳥取県立中央病院は、鳥取東部地域で唯一の救命救急センターを備えており、市内全域から救急患者が搬送されているが、主要搬送経路である国道29号は定時性や安静搬送の面で課題となっている。

■鳥取東部地域の救急医療活動状況



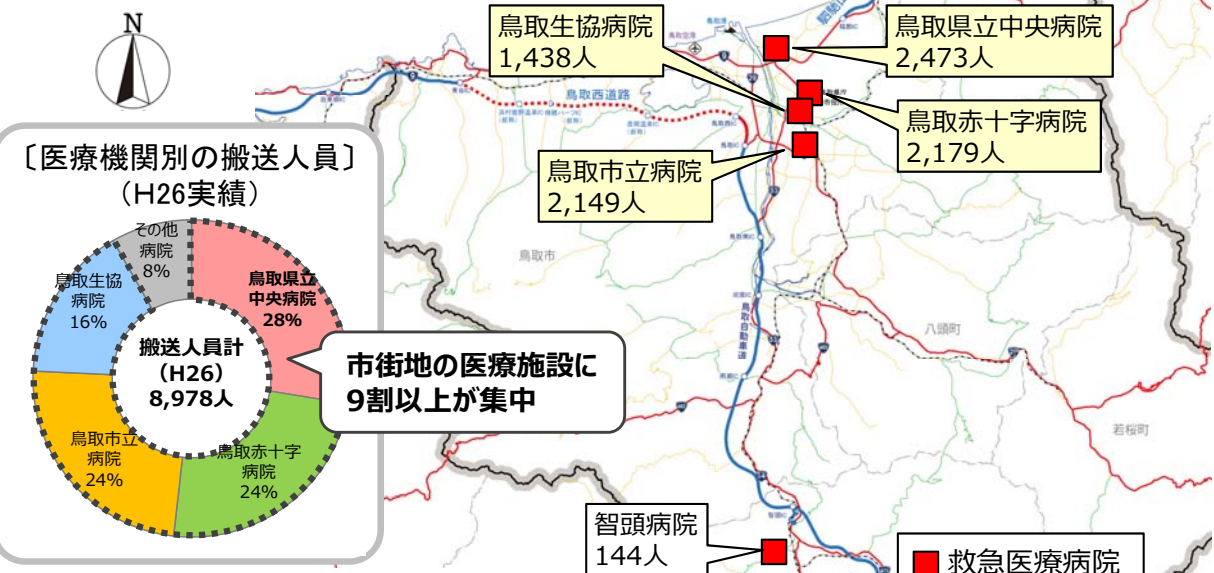
鳥取県東部広域行政管理組合消防局
 鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町の1市4町で構成
 ※出動件数、搬送人員は東部消防における救急業務件数のため、管外からの搬送については含まれない。

〔鳥取県立中央病院への主な搬送経路(平成26年内)〕



資料/消防へのヒアリング調査結果(H27.9)

〔平成26年内における医療機関別の搬送人員〕



国道29号(鳥取IC入口交差点～南隈交差点)に関する救急医療活動に関する地域の声

【鳥取消防署】

- ・当該区間の渋滞で病院への到着時間が大幅に遅れたことがあります。朝夕のピークや休日は、病院までの搬送に時間がかかると予測されるため、当該区間を利用しないことがあります。
- ・渋滞が解消されれば搬送時間の短縮はもちろん 揺れや振動の少ない安静な搬送が出来るため、傷病者の負担軽減が期待されます。

資料/消防へのヒアリング調査結果(H27.9)

資料/消防へのヒアリング調査結果(H27.9)
 ※ヒアリング調査で速報値のため、消防年報と数値が異なる

※救急医療病院:病院ごとの診療可能な範囲で急患を受け入れる医療機関

4-4. 救急医療面での現状と課題②

- 第三次救急医療機関である鳥取県立中央病院と公立豊岡病院は、各医療圏での救急搬送の最大の受け入れ先であり、周辺市町からも多くの救急患者を受け入れており、今後も協力体制を整えていく方針である。
- 高速ネットワーク整備による搬送時間の短縮により、救急医療活動における円滑化・迅速化が期待される。

■第三次救急医療機関への救急搬送の状況(H26)



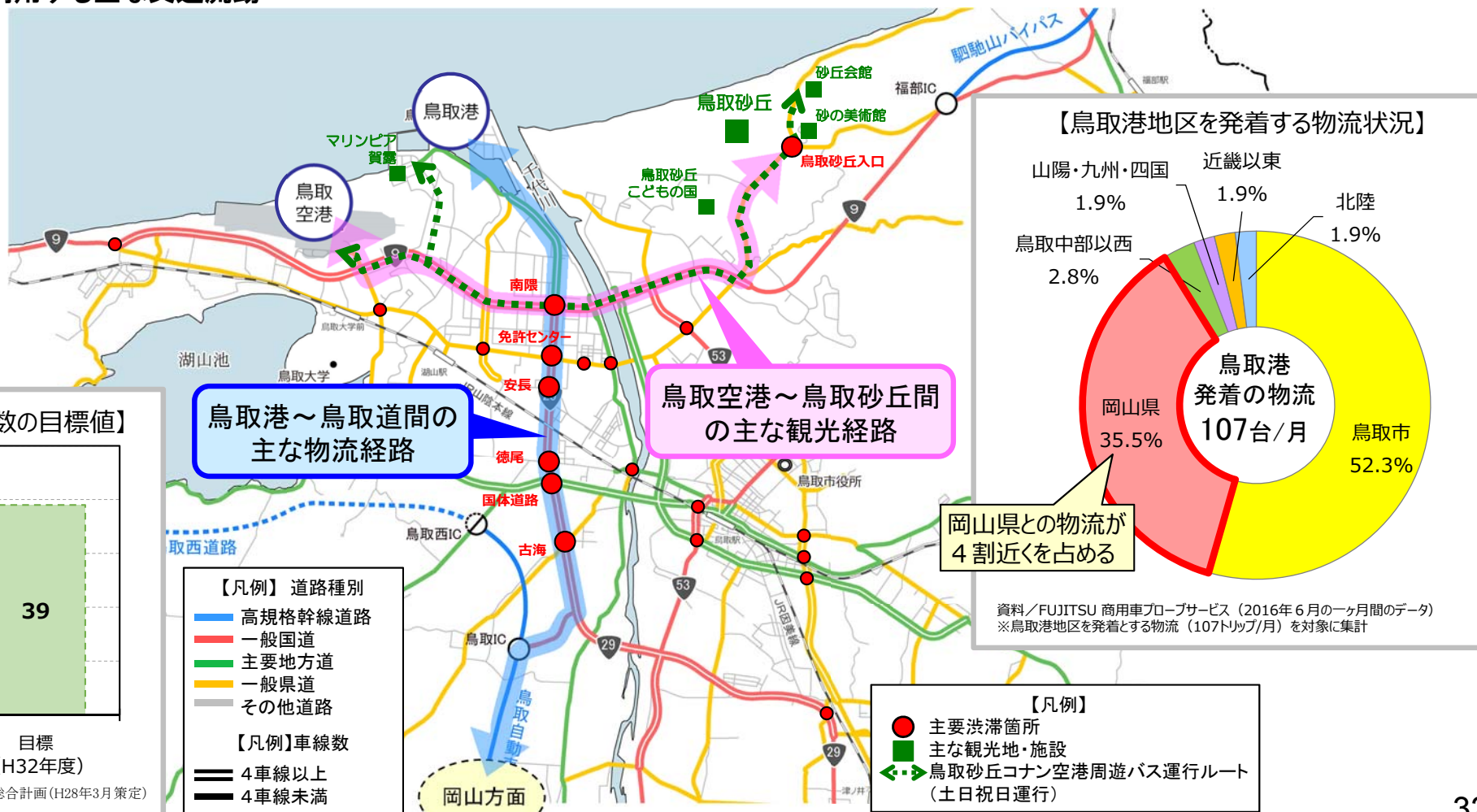
〔第三次救急医療機関への救急件数(H26)〕



4-5. 空港・港湾アクセスの面での現状と課題

- 鳥取空港では、利用促進策の一つとして、空港と鳥取砂丘などの観光地を国道9号経由で連絡する周遊バスを運行し、主要な観光地への2次交通の強化を図っている。
- 鳥取港では、鳥取港地区を発着とする物流の内、岡山県が4割近くを占めており、国道29号及び鳥取自動車道は主要な物流経路となっている。
- しかし、これらの経路上には、主要渋滞箇所が多く存在し、慢性的な速度低下が発生している。

■鳥取空港・鳥取港を利用する主な交通流動

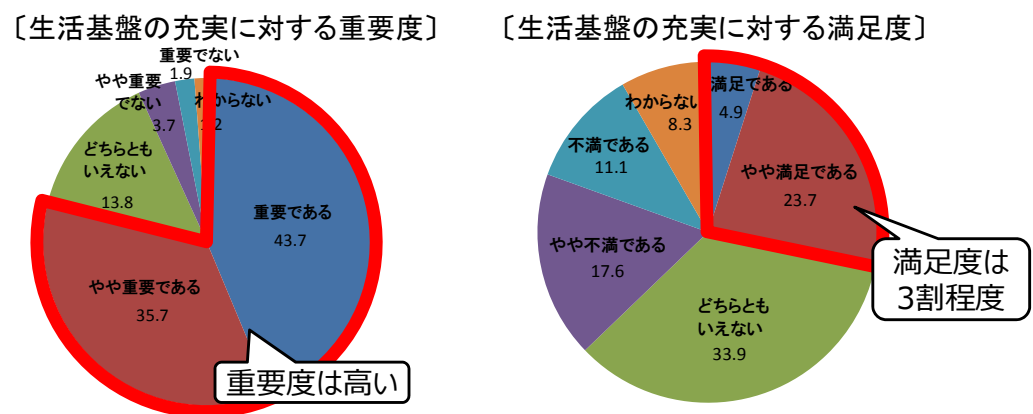


4-6. 住民目線による日常生活の利便性・安全性の確保

○鳥取市の行政サービスに関する住民アンケート調査(H25.9)においては、日常生活の利便性として“生活基盤の充実”や“防犯・交通安全対策の充実”に対する重要度は8割と高いが、満足度は2～3割程度で、引き続き、施策推進への関心が高い。

○“第10次鳥取市総合計画”に関する市民アンケートでは、鳥取道の開通効果もあり、安全で迅速に移動できる幹線道路の整備の満足度は向上したものの、未だ約4割が不満を持っており、幹線道路の整備による利便性・安全性の確保は重要な課題である。

■日常生活の利便性



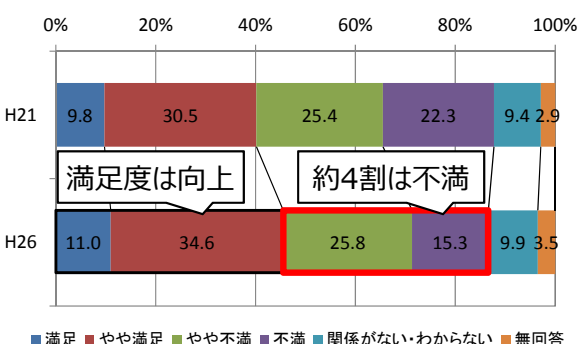
【現状と課題】

○高速道路網は、地域活動や経済活動の重要な基盤であり、市民生活を豊かで快適にします。鳥取自動車道の鳥取県側の開通に引き続き、山陰自動車道(鳥取西道路)などの早期整備を促進することが必要である。

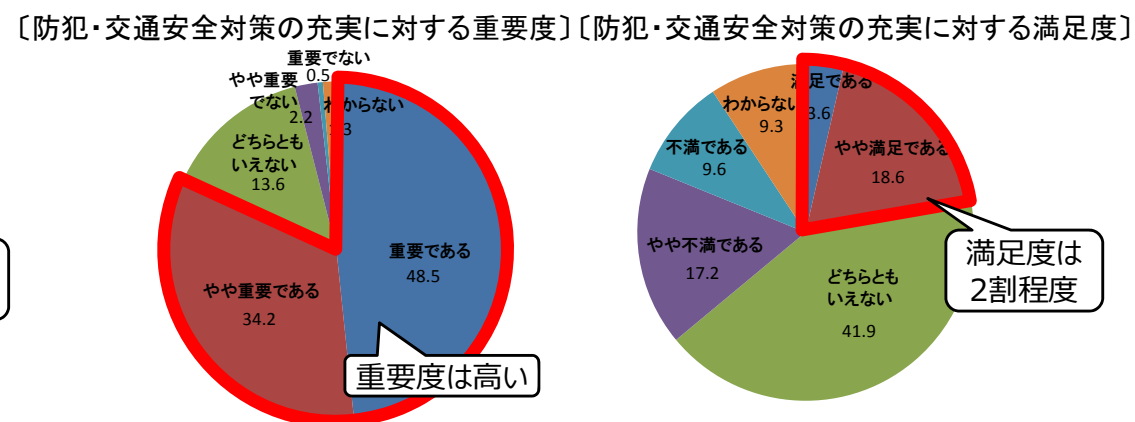
資料/鳥取市の行政サービスに関する市民アンケート調査報告書 平成25年9月(回答数N=854)

〔安全、迅速に移動できる幹線道路整備に対する満足度の変化〕

資料/市民アンケート調査(第9次総合計画策定時) 平成21年11月(回答数N=2298)
市民アンケート調査(第10次総合計画策定時) 平成26年12月(回答数N=2050)



■安全性の確保



【現状と課題】

○交通事故死亡者数及び交通事故件数は、全体として減少傾向にあるが、交通事故死亡者に占める高齢者の割合は上昇している。

○引き続き、高齢者の交通安全意識の一層の向上を図るとともに、子どもや障がいのある人も含めた交通弱者を交通事故から守る取組みを進める必要がある。

資料/鳥取市の行政サービスに関する市民アンケート調査報告書 平成25年9月(回答数N=854)

■道路整備の優先度

〔鳥取市を住みよいまちにするために、今後優先して進めるべき施策〕

○33ある施策のうち、「道路整備対策」の優先度は、「雇用対策」や「社会福祉対策」に続き、第6位に位置し約25%が優先すべき施策であると回答している。

資料/市民アンケート調査(第10次総合計画策定時) 平成26年12月(回答数N=2050)

5. 課題の整理

5-1. 課題の整理

鳥取市・岩美町地域では、人口減少や高齢化が進展

鳥取市	人口：19.6万人（H2年）→19.7万人（H22年）→17.2万人（H42年）	高齢化率：14.2%（H2年）→23.0%（H22年）→33.3%（H42年）
岩美町	人口：1.5万人（H2年）→1.2万人（H22年）→0.9万人（H42年）	高齢化率：18.3%（H2年）→30.1%（H22年）→41.7%（H42年）

地域の課題

鳥取市千代水地区は、市の都市計画マスタープランにおいて「物流・サービス拠点」として位置づけられているものの、国道29号の慢性的な渋滞により、高速ICへのアクセス性が低く、物流活動への支障となっている

岩美町は水産業が基幹産業の一つであり、持続可能な産業へ発展させていくため、輸送時間短縮による水産物の販路拡大支援が重要

鳥取東部地域では、鳥取砂丘周辺エリアを周遊する観光客が大半を占めており、高速道路ネットワークが形成されていない岩美町への周遊は少ない

鳥取ICから鳥取砂丘へのアクセスは、GW期間中の混雑時において、通常時の3倍近く時間を要し、観光客のみならず道路利用者全体に影響を与えている

山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟（平成22年10月）以降、沿線自治体等により広域観光促進に向けた取り組みが実施されているものの、これらの地域をつなぐ高速道路整備は遅れている

鳥取県立中央病院は鳥取東部地域で唯一の救命救急センターを備えており、市内全域から救急患者が搬送されているが、主要な搬送経路である国道29号は定時制や安静搬送の面で課題となっている

鳥取県立中央病院は周辺市町からも多くの救急患者を受け入れており、今後も隣接医療圏と協力体制を整えていく方針

「安全で迅速に移動できる幹線道路整備」に対する住民ニーズは高く、約4割の住民が現状に不満を感じている

道路の課題

鳥取市街では、一級河川千代川とJR山陰本線が都市を分断し、限られた往来部（渡河部・跨線部）に交通が集中している。南北交通を担う国道29号には多様な交通が混在し、主要渋滞箇所が連続して存在

鳥取市街の幹線道路では、死傷事故率が全国平均以上の区間が多数存在しており、国道9号・29号では、交通の混在や主要渋滞箇所の存在などを要因とした追突事故が多発

一級河川千代川の想定最大規模の洪水時には、緊急輸送道路に指定される国道29号や53号が冠水し、救命・救助や物資輸送などの緊急活動に支障をきたすことが懸念される

産業
(商工業/
農水産業)

観光

安全安心

5-1. 課題の整理

産業（商工業/農水産業）

- ・鳥取市千代水地区では、国道29号の慢性的な渋滞により、高速ICへのアクセス性が低く、物流活動への支障となっている
- ・岩美町では、基幹産業の一つである水産業の持続的発展のため、輸送時間短縮による水産物の販路拡大支援が重要

観光

- ・鳥取東部地域では、鳥取砂丘周辺を周遊する観光客が大半を占め、岩美町への周遊は少ない
- ・観光シーズンには、鳥取IC～鳥取砂丘間の所要時間は通常時の3倍に増加
- ・山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟以降、広域観光促進に向けた取組が実施されているが、地域間をつなぐ高速道路整備は遅れている

安全安心

- ・鳥取市街では、国道29号等を中心に主要渋滞箇所が連続して存在
- ・渋滞箇所では、速度低下を要因とした追突事故が多発
- ・市街地の渋滞により、救急搬送時において定時制や安静搬送の面で課題となっている
- ・千代川の洪水時には、国道29号や53号が冠水し、救命・救助などの緊急活動に支障をきたすことが懸念される



《参考》 圏域の将来像

- ◇新たな全国計画（H27. 8閣議決定）を踏まえ、個性豊かな地域が相互に連携することにより、ヒト、モノ、情報等が双方向で活発に行きかう「対流促進型国土」の形成を基本として、「コンパクト+ネットワーク」により、「稼げる国土」、「住み続けられる国土」の実現を目指す。
- ◇概ね10年間の国土づくりの戦略として、平成28年3月に全国8ブロックの「広域地方計画」を決定。中国圏では4つの将来像を実現するため、6つの基本戦略を設定。

中国圏広域地方計画～瀬戸内から日本海の多様な個性で対流し、世界に開かれ輝く中国圏～

4つの将来像

- ① 国内外の多様な交流と連携により発展する中国圏
- ② 産業集積や地域資源を活かし持続的に成長する中国圏
- ③ 豊かな暮らしで人を惹きつける中山間地域や島しょ部を創造する中国圏
- ④ 新たなステージにも対応する安全・安心な中国圏

6つの基本戦略

- ① 重層的なネットワーク形成と拠点都市の整備による対流促進型圏域づくり
- ② ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化
- ③ 中山間地域・島しょ部における人口減対策等地域振興の推進
- ④ 土砂災害・水害対策やインフラ長寿命化等による強靱な圏域整備と安全・安心の推進
- ⑤ 環境と産業・生活が調和した地域づくり
- ⑥ 将来の発展を担う人材育成

基幹交通の整備による重層的ネットワーク形成イメージ

山陽側の交流の強みを活かすとともに山陰の地域資源の魅力を発揮することで、圏域内外の対流を促進し、持続的に発展するための基盤となる山陰道のミッシングリンク解消など、基幹交通の整備によるネットワークを強化。

〈山陰道の整備〉

観光資源の連携による広域観光ルート形成や山陽と九州との物流効率化等の役割を担うものとして整備を推進。



5-2. 地域の将来像

項目	地域の将来像
産業	<ul style="list-style-type: none"> ○人、物、情報の「大交流時代」を切り拓く～「北東アジアゲートウェイ構想」 <鳥取県の将来ビジョン(追補版)> (H26.10) ○素材がよく、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業 <鳥取県の将来ビジョン(追補版)> (H26.10) ○「交通基盤・情報基盤の充実」で利便性向上・地域の活性化 <鳥取県の将来ビジョン(追補版)> (H26.10) ○人・モノ・情報が行きかい にぎわうまちづくり 高速道路網を活用した工業用地の整備 <鳥取市新市域振興ビジョン> (H26.8) ○人口減少や高齢化に対応したコンパクトで秩序ある市街地形成を進めるとともに、 鳥取に住みたいと思える住宅・商業・工業地の形成を図ります <鳥取市都市計画マスタープラン(案)概要版> (H28.3) ○まちづくりを支える自立した自治体経営 自治体間の広域的な連携の推進 <第10次鳥取市総合計画> (H28.4) ○交通インフラの整備促進 <第2次鳥取・因幡定住自立圏共生ビジョン> (H27.3) ○誰もが活躍できる“しごとづくり” 地域経済の再生と産業の底上げ <鳥取市創生総合戦略> (H28.7) ○地域経済活動の維持 経済活動、サプライチェーンの維持 <鳥取県国土強靱化地域計画> (H28.3)
観光	<ul style="list-style-type: none"> ○観光による「ようこそ、ようこそ鳥取県」の実現 <鳥取県の将来ビジョン> ○まちづくりを支える自立した自治体経営 自治体間の広域的な連携の推進 <第10次鳥取市総合計画> (H28.4) ○魅力ある観光地づくり 山陰海岸ジオパークの特性を活かした取り組み <観光白書2014> (H26.12) ○魅力ある観光地づくり おもてなしの向上 <観光白書2014> (H26.12) ○広域・国際観光の推進 広域観光連携の推進 <観光白書2014> (H26.12)
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ○「災害に強い県土」をつくる <鳥取県の将来ビジョン(追補版)> (H26.10) ○安全・安心なまち 暮らしの安全を守るまちづくり 地域防災力の向上 <第10次鳥取市総合計画> (H28.4) ○防災力が高く、交流を促進する魅力ある道路網を形成します <鳥取市都市計画マスタープラン(案)概要版> (H28.3) ○都市施設の整備と地域防災力の向上を図り、災害に強い都市づくりをすすめます <鳥取市都市計画マスタープラン(案)概要版> (H28.3) ○救助・救援、医療活動の迅速な対応 物資供給等 <鳥取県国土強靱化地域計画> (H28.3) ○ライフラインの確保及び早期復旧 地域交通ネットワークの維持 <鳥取県国土強靱化地域計画> (H28.3) ○迅速な復旧・復興 基幹インフラの機能強化 <鳥取県国土強靱化地域計画> (H28.3) ○安全・安心なまち 快適でゆとりのある生活環境づくり 生活基盤の充実 <第10次鳥取市総合計画> (H28.4) ○賑わいにあふれ安心して暮らせる“まちづくり” 住み良い環境づくり <鳥取市創生総合戦略> (H27.9)

5-2. 地域の将来像（高速道路ネットワークを活かしたまちづくり勉強会）

- 鳥取市では、平成25年7月に「高速道路ネットワークを活かしたまちづくり勉強会」を設立し、各分野の専門委員を交え、今後のまちづくりの課題や方向性について検討。
- 5回にわたる勉強会を経て、平成26年1月に最終の「とりまとめ」を策定。

鳥取市及び因幡圏域の将来像

1. 高速道路ネットワークを巧みに活用することにより、地域経済の活性化や交流人口の拡大、まちの賑わい創出を目指す。
2. 高速道路ネットワークにより効率的に連携をすることで、防災・医療などの様々な機能が最大限の効果を発揮し、コンパクトなまちづくりの実現を図るとともに、広域高速道路ネットワークによる関西圏・中国圏との接続により因幡圏域の持続的発展を目指す。

高速道路を活かしたまちづくりの方向性に関する提案

1. 地域の魅力向上、拠点の強化

- 他地域との競争に勝つための魅力の発掘、再創造
- 地域の魅力の効果的な情報発信
- 圏域全体の核となる中心市街地の活性化
- 近年の異常気象や過去の災害を踏まえた防災拠点、医療機関の機能やアクセス面に着目した検証

2. 地域内の連携促進

- 無料の高速道路を活用した因幡圏域の周遊性向上と圏域一体での観光戦略の立案
- 無料の高速道路を活用した多極型都市圏の構築
- 防災拠点や福祉、医療機関の高速道路ネットワークへの接続性検討
- 高速道路を活用した各拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの構築
- 都市計画マスタープラン見直しの必要性
(市民の利便性と圏域の発展に繋がる広域ネットワークに関する視点の盛り込み)

3. 他地域との連携、交通拠点の活用、経済活性化への活用

- 鳥取空港、鳥取港等の利用促進
- 観光における東西軸と南北軸の連携強化
- 災害時の拠点機能や交通の要衝と高速道路ネットワークの連携
- 物流拠点の誘致や既存企業への継続的な支援
- 農林水産業における積極的な販路開拓、生産振興

4. 高速道路ネットワークのあり方について

- 鳥取市街地北側区間のミッシングリンクの解消
 - ・物流、観光業発展のための移動時間の短縮
 - ・鳥取空港や鳥取港、県立中央病院との接続性向上
 - ・国道29号（千代水周辺）の交通円滑化
- 具体的なルート等については、以下に留意し地域住民や企業等の意見を踏まえた議論が今後必要
 - ・高速道路としての定時性の確保
 - ・拠点施設等との接続性の確保
 - ・スムーズに移動できる連結位置のバランス
- 災害等に強い高速道路ネットワークの確保
(適切な維持管理、付加車線の整備、災害時の迂回路や代替ルートの検討)

5-2. 地域の将来像（鳥取市のまちづくり）

- 鳥取市都市計画マスタープラン(案)において、まちづくりの方針が整理されている。
- 鳥取市のまちづくりにおいて、ミッシングリンクの解消及び高速道路ネットワークの確立、市街地内の通過交通の排除や道路防災機能の向上が整備方針として示されている。

鳥取市の将来都市構造

1. 拠点の形成

(1) 中心拠点

- ・市域の中心として、行政中枢機能、総合病院、大規模商業施設などの各種の高次都市機能が集積する地区

(2) 地域生活拠点（市街地部／田園地域）

- ・地域の中心として、行政支所機能、診療所、食品スーパーなどの日常的な生活サービス施設等が集積する地区

(3) その他の拠点

- ・賀露（水産拠点）、千代水（物流・サービス拠点）、津ノ井ほか（工業拠点）、若葉台・湖山（学術・研究拠点）

2. 連携軸の形成

(1) 国際交流を通じて地域の活性化を促進するための「国際連携軸」

(2) 他都市との広域連携を深めるための「広域連携軸」

- ・高速道などの広域交通ネットワークの強化を図る。
- ・また、各地域生活拠点を結び、市域内の連携を強化する地域内連携軸としても活用する

(3) 中心拠点と市街地部の地域生活拠点間を結ぶ「都市内連携軸」

(4) 田園地域の地域生活拠点と市街地部を結ぶルート「地域内連携軸」

(5) 田園地域や市街地外縁部との調和や秩序ある景観形成をめざす「都市環境共生軸」

(6) 水と緑の保全・再生を図る「水と緑の骨格軸」

鳥取市のまちづくり方針

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 土地利用方針 | 5. 都市景観形成の方針 |
| 2. 各拠点の整備方針 | 6. 都市防災の方針 |
| 3. 都市施設の整備方針 | 7. 福祉のまちづくり方針 |
| 4. 都市環境形成の方針 | |

○ 交通施設の整備方針

【道路網】

防災力が高く、交流を促進する魅力ある道路網を形成

- ・鳥取自動車道や山陰道、山陰近畿自動車道の早期整備を促進し、**ミッシングリンクの解消及び高速道路ネットワークの確立**を図る
- ・**市街地内の通過交通の排除**や、**道路防災機能の向上**を図るため、幹線道路や市街地主要道路の整備を促進する

【公共交通】

利便性の高い総合的な公共交通体系の確立を図る

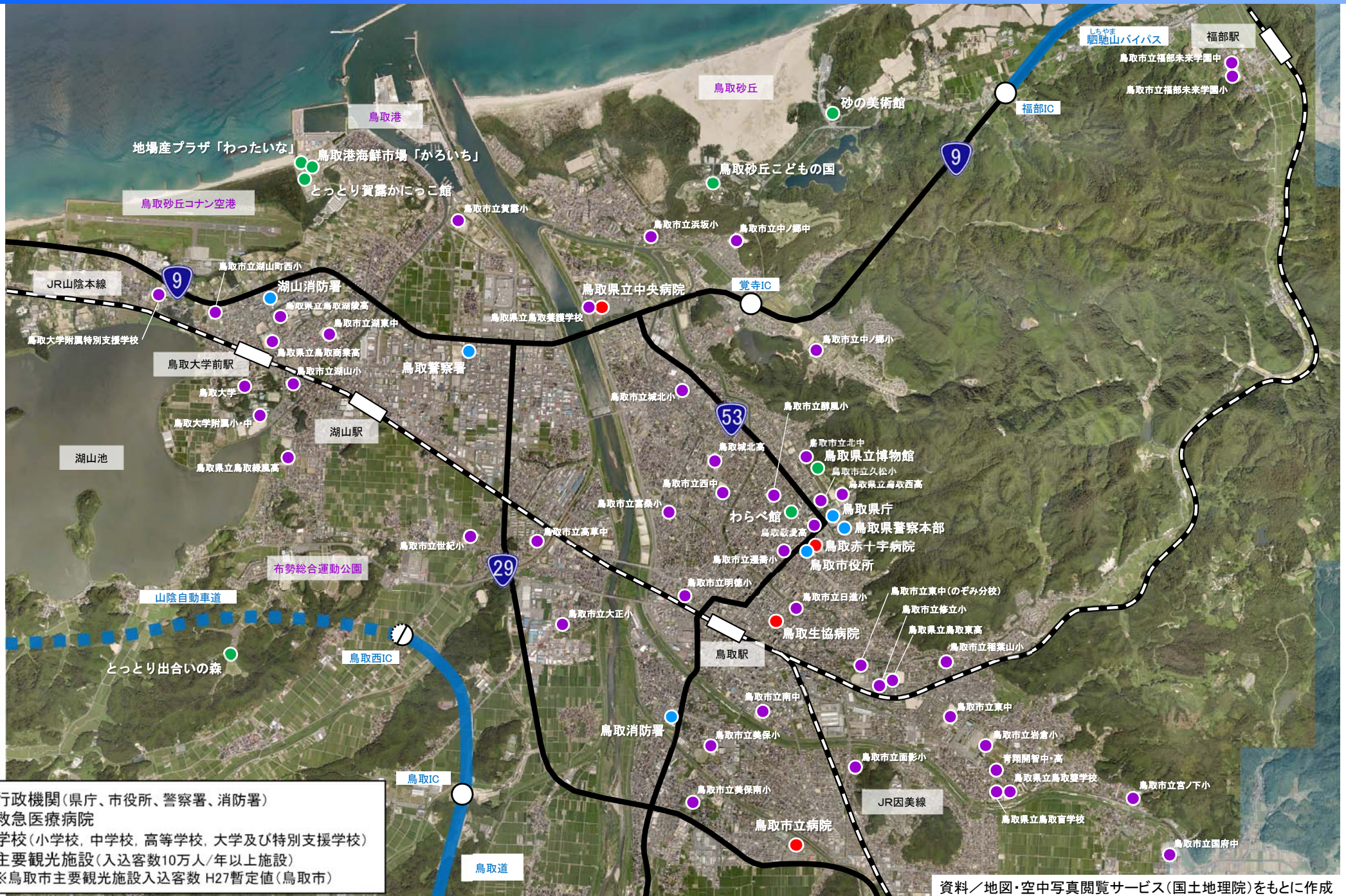
- ・主要な公共交通となるバス交通網については、幹線・支線の役割分担等により、利便性が高く効率的でわかりやすいバス体系を確立する

【その他】

人と環境に優しい交通施策を推進

- ・コミュニティ道路（歩行者の安全性や快適性を考慮した自動車の通行を主たる目的とはしない生活道路のこと）の導入や、バリアフリー化等による人に優しい環境整備を推進し、安全・快適で回遊性のある自転車・歩行者空間の形成を推進する

《参考》鳥取市街主要拠点配置

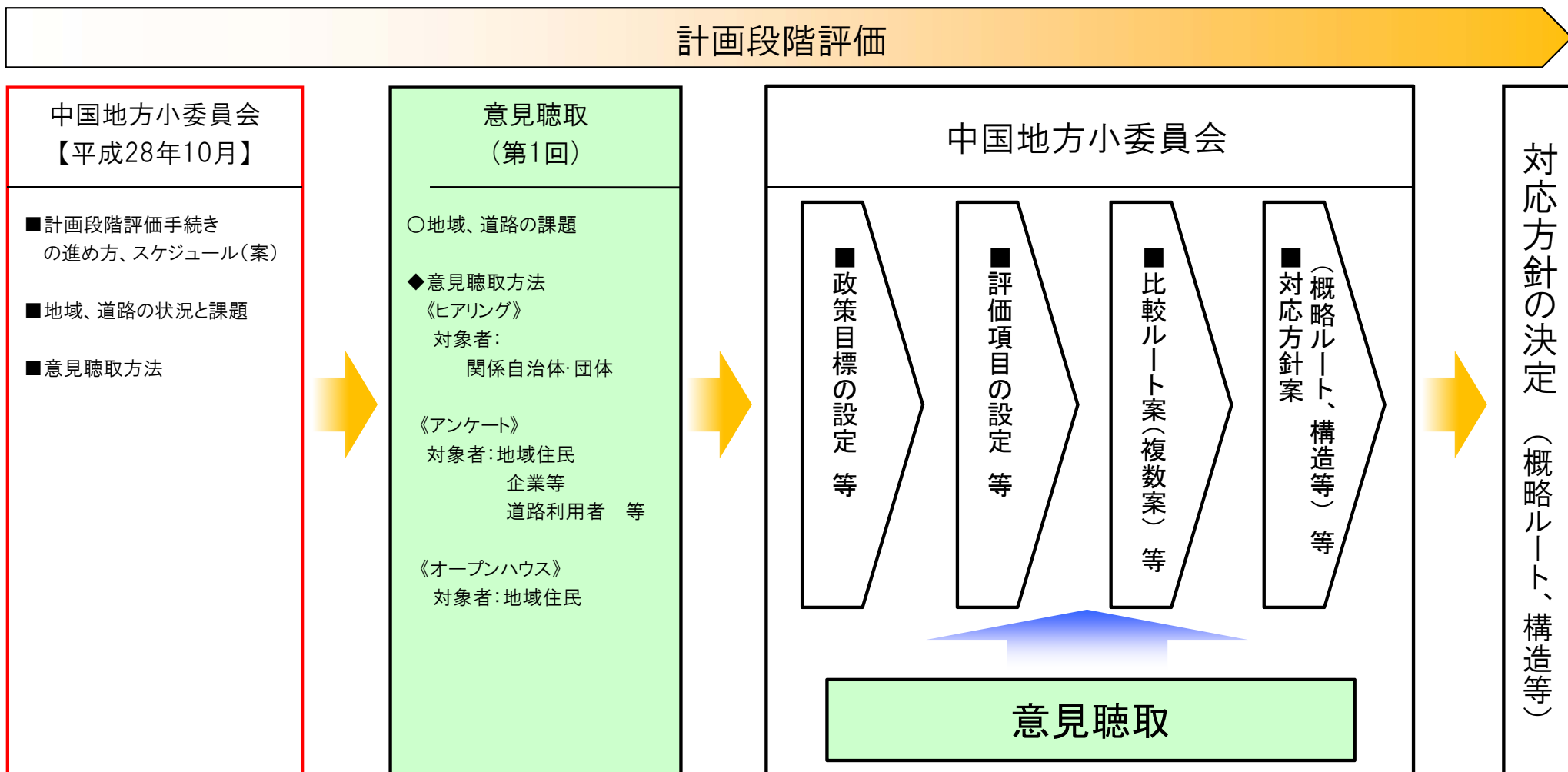


6. 計画段階評価の進め方

6. 計画段階評価の流れ

1. 計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



7. 意見聴取方法

7-2. 各手法の調査項目と活用方針

■意見聴取の方法目的

把握する意見	アンケート	オープンハウス	ヒアリング	備考
交通課題 及び道路課題	鳥取市街における交通課題及び道路課題について、地域住民などの概ねの考えを把握する。		アンケートでは把握できない具体的な交通課題及び道路課題、道路の役割について把握する。	第1回
地域の課題	交通課題及び道路課題が招く改善すべき地域の課題について、地域住民などの概ねの考えを把握する。		アンケートでは把握できない具体的な地域の課題や地域の目指すべき将来像について把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。			
比較ルート帯案 (複数案)に対する 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート帯選定にあたり、地域住民などが概ね重要視する視点を把握する。 ・インターチェンジ設置位置（配置計画）において、地域住民などが概ね重要視する視点を把握する。 		ルート帯やインターチェンジ設置位置について、アンケートでは把握できない具体的な重要視する視点を把握する。	今後
その他の自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。			
回答者の属性 利用状況	回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する。		—	共通

7-3. アンケート調査

■ 計画概要

① 調査概要

- 本調査の主旨、調査対象箇所について説明

鳥取豊岡宮津自動車道(鳥取～福部)における 沿線住民用 計画に関する第1回アンケート

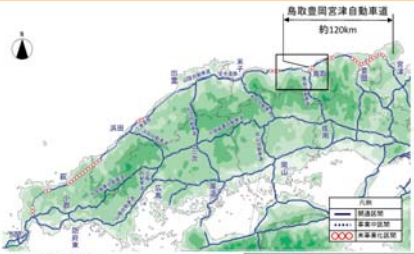
鳥取豊岡宮津自動車道は、鳥取県鳥取市を起点とし、京都府宮津市を終点とする延長約120kmの地域高規格道路であり、物流や人の交流機能の強化を主な目的として整備を進めています。

今回のアンケートでは、鳥取～福部間の計画検討にあたり、地域のみならずの生活に役立つ道路とするため、ご意見を伺うものです。
アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

アンケートの結果は、今後の鳥取豊岡宮津自動車道の計画に役立ててまいります。また、結果につきましては、集計してホームページ等で公表させていただきます。

※地域高規格道路とは、全国的な自動車交通網を形成する自動車専用道路である高規格幹線道路を補完し、地域の自立的発展や地域間の連携を支える道路として整備することが望ましい路線です。

■ このアンケートの対象は、鳥取～福部間です。



【拡大図】



今回の鳥取～福部間のアンケートへの回答がインターネットでも可能です。また地域や道路・交通の状況と課題について、国土交通省HPでご覧いただけます。

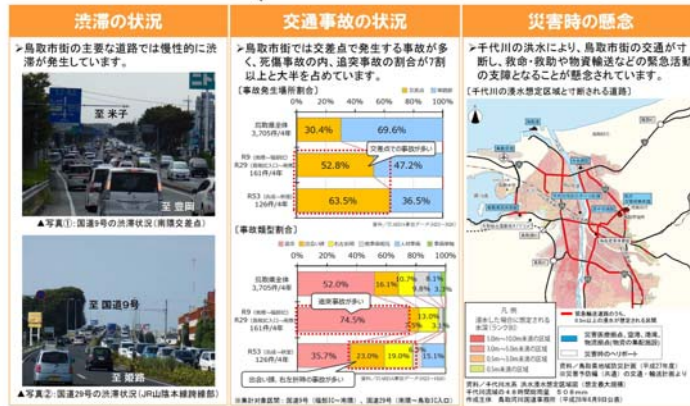


■ 鳥取市内中心部の現状

② 鳥取～福部を含む周辺地域(市内中心部)の現状

- 対象地域周辺の拠点や道路課題、地域の課題について説明

周辺地域と道路の現状(説明図) 鳥取～福部 L:約12km



地域の将来を見据えた改善すべき地域の課題

① 日常的かつ観光繁忙期を中心に発生している著しい交通渋滞により、日常生活の移動利便性向上の妨げになっている。

② 交通渋滞により、交通事故が発生し、日常生活の安全・安心の確保の妨げになっている。

③ 交通渋滞により、高速道路ICへのアクセス性が低く、鳥取市千代水地区への物流活動の妨げとなっている。

④ 交通渋滞により、高速道路ICへのアクセス性が低く、岩美町の主要産業である水産業における販路拡大の妨げとなっている。

⑤ 交通渋滞及び高速道路ネットワークの整備の遅れにより、高度な医療が受けられる病院への救急搬送の迅速性や安定走行性の確保の妨げになっている。

⑥ 高速道路ネットワークの整備の遅れにより、観光地へのアクセス性が低く、鳥取・兵庫・京都に跨る広域エリアでの観光周遊の妨げとなっている。

Q. 地域の産業が盛況した場合、地域にとってどのような変化が起きますでしょうか。

⑦ 千代川で大規模な水害が発生した場合、緊急輸送を円滑に行うための道路の多くが冠水し、救命・救助や物資輸送など緊急活動の妨げになる可能性がある。

7-3. アンケート調査

③質問内容・回答欄(回答例)

【 アンケート質問票 】 (ご回答は別紙の回答はがきに記載してください)

質問1 鳥取市街には、以下の①～⑥の交通課題及び道路課題があると認識しています。①～⑥の項目それぞれについて、「5.強く思う」～「1.全くそう思わない」のうち、当てはまるもの1つに○をつけてください。また、その他に課題があると思う方はご自由にお書きください。

<5段階評価> 5.強く思う 4.やや思う 3.どちらとも言えない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない

- ① 平地部である鳥取市街に出入りする交通が主要な道路に集中する。
- ② 鳥取市街で渋滞が発生している。
- ③ 高速道路IC、観光地などの拠点への移動に時間がかかる。
- ④ 交通事故が発生しやすく、危険である。
- ⑤ 高速道路ネットワークの整備が遅れている。
- ⑥ 千代川で大規模な水害が発生した場合、鳥取市街における南北方向の交通が寸断する可能性がある。

質問2 鳥取市街の将来を見据えた際、上記に示した交通課題及び道路課題が招く改善すべき地域の課題が7項目あると認識しています。以下の①～⑦の項目それぞれについて、「5.強く思う」～「1.全くそう思わない」のうち、当てはまるもの1つに○をつけてください。

<5段階評価> 5.強く思う 4.やや思う 3.どちらとも言えない 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない

- ① 日常的かつ観光繁忙期を中心に発生している著しい交通渋滞により、日常生活の移動利便性向上の妨げになっている。
- ② 交通渋滞により、交通事故が発生し、日常生活の安全・安心の確保の妨げになっている。
- ③ 交通渋滞により、高速道路ICへのアクセス性が低く、鳥取市千代水地区への物流活動の妨げとなっている。
- ④ 交通渋滞により、高速道路ICへのアクセス性が低く、岩美町の主要産業である水産業における販路拡大の妨げとなっている。
- ⑤ 交通渋滞及び高速道路ネットワークの整備の遅れにより、高度な医療が受けられる病院への緊急搬送の迅速性及び安定走行性の確保の妨げになっている。
- ⑥ 高速道路ネットワークの整備の遅れにより、観光地へのアクセス性が低く、鳥取・兵庫・京都に跨る広域エリアでの観光周遊の妨げとなっている。
- ⑦ 千代川で大規模な水害が発生した場合、緊急輸送を円滑に行うための道路の多くが冠水し、救命・救助や物資輸送など緊急活動の妨げになる可能性がある。

質問3 この区間の道路整備の必要性、鳥取豊岡宮津自動車道が利用しやすい道路となるためのアイデアや、整備する上で配慮した方が良いと思うことについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

■回答方法: 別紙の回答はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投入してください。

■締め切り: 平成*年*月*日(*)まで に投函願います。

【 アンケート回答例 】

別紙のアンケート質問票をご覧の上、アンケートにご回答ください。

・5段階評価で回答する項目については、「5.強く思う」「4.やや思う」「3.どちらとも言えない」「2.あまりそう思わない」「1.全くそう思わない」の5段階評価のうち該当する数字1つに○をつけてください。

・自由回答の欄にはあなたのご意見をご記入ください。

<回答例>

質問1をお答えください ①～⑥の項目それぞれで該当する数字1つに○をつけてください。

項目	強く思う	やや思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない
①	5	4	3	2	1
②	5	4	3	2	1
③	5	4	3	2	1
④	5	4	3	2	1
⑤	5	4	3	2	1
⑥	5	4	3	2	1

上記①～⑥の他に、課題と感じていることがありましたら、ご記入ください。

<自由回答>

私がその他に課題と感じているのは、○○・・・・。

質問2をお答えください ①～⑦の項目それぞれで該当する数字1つに○をつけてください。

項目	強く思う	やや思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない
①	5	4	3	2	1
②	5	4	3	2	1
③	5	4	3	2	1
④	5	4	3	2	1
⑤	5	4	3	2	1
⑥	5	4	3	2	1
⑦	5	4	3	2	1

質問3をお答えください <自由回答>

- ・道路整備の必要性
- ・鳥取豊岡宮津自動車道が利用しやすい道路となるためのアイデア
- ・鳥取豊岡宮津自動車道を整備する上で配慮した方が良いと思うこと

私が鳥取豊岡宮津自動車道を整備する上で配慮した方が良いと思うことは、△△・・・・。

【 回答はがき 】 (アンケート質問票をご覧いただき回答してください)

質問1をお答えください ①～⑥の項目それぞれで該当する数字1つに○をつけてください。

項目	強く思う	やや思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない
①	5	4	3	2	1
②	5	4	3	2	1
③	5	4	3	2	1
④	5	4	3	2	1
⑤	5	4	3	2	1
⑥	5	4	3	2	1

上記①～⑥の他に、課題と感じていることがありましたら、ご記入ください。

<自由回答>

質問2をお答えください ①～⑦の項目それぞれで該当する数字1つに○をつけてください。

項目	強く思う	やや思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全くそう思わない
①	5	4	3	2	1
②	5	4	3	2	1
③	5	4	3	2	1
④	5	4	3	2	1
⑤	5	4	3	2	1
⑥	5	4	3	2	1
⑦	5	4	3	2	1

質問3をお答えください <自由回答>

- ・道路整備の必要性
- ・鳥取豊岡宮津自動車道が利用しやすい道路となるためのアイデア
- ・鳥取豊岡宮津自動車道を整備する上で配慮した方が良いと思うこと

7-3. アンケート調査

④手続きの流れ・はがき表面

今後の手続きの流れ

定形郵便物

料金受取人払郵便

鳥取局 承認 ***

差出有効期間 平成*年*月*日 (切手不要)

鳥取県鳥取市田園町4-400

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 計画課 行

仮

◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所 〒 県 市・郡 町

性別 ①男性 ②女性 年齢 歳代

◆「鳥取～福部間」の国道9号、国道29号利用状況について【該当する番号に○をつけてください】

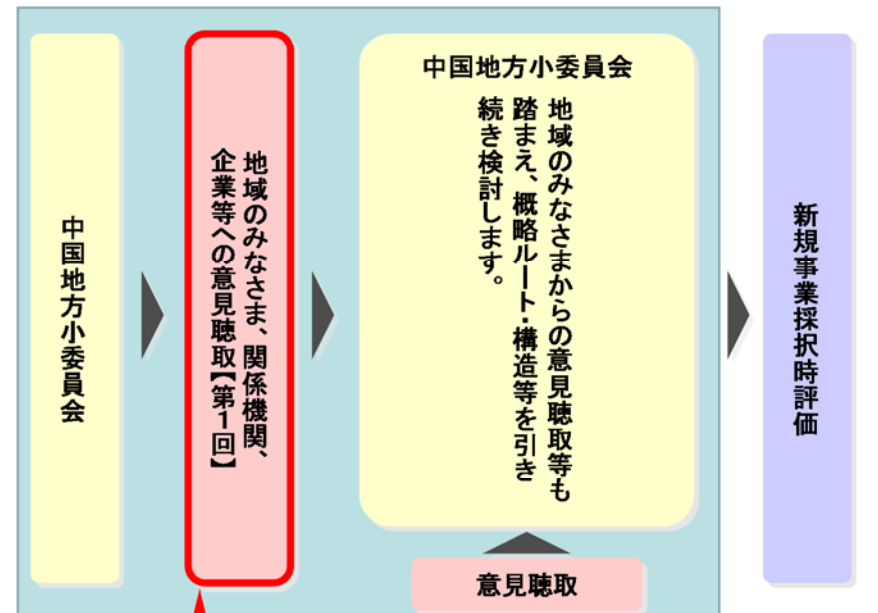
Q1. 現在の対象路線を自動車で利用する頻度を教えてください。
 ①ほぼ毎日 ②週2～3回程度 ③月2～3回程度
 →①、②、③を選ばれた方は「下段」の質問へ
 ④ほとんど利用しない ⑤利用したことがない
 →④、⑤を選ばれた方は「裏面」の質問へ

Q2. 対象路線の自動車による主な利用目的を教えてください。
 ①通勤 ②通学 ③家事・買い物
 ④仕事 ⑤観光・レジャー ⑥その他()

Q3. 主な目的地を教えてください。
 ①鳥取市内 ②岩美町 ③八頭町
 ④智頭町 ⑤若狭町 ⑥湯梨浜町
 ⑦北条町 ⑧その他()
 「裏面」の質問へ

※)本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報は、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません

計画段階評価の流れ



今回のアンケートはこの段階です

※計画段階評価とは、公共事業の実施過程の透明性を一層向上させる観点から、地域の声を聞きながら計画段階において事業評価を行う取り組みです。

アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局
 鳥取河川国道事務所 計画課
 担当:河井(かわい)、山本(やまもと)
 ☎ 0857-22-8435



安心して快適な
 地域づくりのために
 みなさまのご意見をお待ちしております。